

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
基礎	論理的思考法・記載法	新井 智子	あり	1 単位・15 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
<p>実習では、得られた結果をわかりやすくまとめ、既知の知見と照らし合わせて結果から言えることを考察し、それを論理的に記述する力が必要となる。本科目ではその基礎力を身につけることを目標とする。</p>																
【講義概要】																
<p>学内実習のレポート作成のみならず、就職の論文試験や実務に就いてからの論文作成においても必須となる論理的な思考法と記述法について、演習を行いながら学ぶ。</p>																
【教科書・参考文献】																
<p>教員作成資料を配布する。</p>																
回	授業計画及び学習内容															
1	4/12 論理的思考とはどのようなものか。															
2	4/19 筋道を立てて考える。															
3	4/26 自分の言葉で理解する。															
4	5/10 わかりやすく伝える。															
5	5/17 レポートを書く際の基本事項															
6	5/24 レポートを書くための基礎能力															
7	5/31 実習レポート作成上の留意事項															
8	9 月 基礎医学実習のレポートを題材とした検討会															
【成績評価方法】																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他(参加度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>約 60%</td> <td>%</td> <td>約 25%</td> <td>%</td> <td>約 15%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)	100%	約 60%	%	約 25%	%	約 15%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)											
100%	約 60%	%	約 25%	%	約 15%											
【教員紹介】																
<p>病院検査部の臨床検査技師および大学教員として勤務し、多数の学会発表や論文公表を行った実績を有する。</p>																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
専門基礎	基礎統計学 (社会科学)	稲垣 高宏	有	2 単位・30 時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本的な統計の知識を身に付ける。							
【講義概要】							
統計の基礎的な知識を身に付け、推定と検定まで理解する。							
【教科書・参考文献】							
なし。							
回	授業計画及び学習内容						
1	平均と標準偏差						
2	ヒストグラム (度数・相対度数・有効数字)						
3	確率分布						
4	正規分布						
5	標準正規分布						
6	標準正規分布 (Z 値)						
7	正規分布を利用して確率を求める						
8	母集団と標本						
9	区間推定 (大標本)						
10	区間推定 (小標本)						
11	検定						
12	2 項分布						
13	2 項分布 (正規分布で近似)						
14	標本比率の正規分布の近似、母比率と標本比率の関係						
15	母比率推定						
16	期末試験						
【成績評価方法】							
		評価項目	試験	課題	レポート	平常点	その他()
		100%	60%	20%	%	20%	%
【教員紹介】							
<p>メーカー系 IT 企業で SE・プログラマーとして開発業務に従事する。</p> <p>退職後にシグマプロジェクトの研究員を務める。</p> <p>20 代の終わりに起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。</p> <p>開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。</p>							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・後期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
基礎	分子生物学（自然科学）	大田和	あり	2 単位・30 時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺伝情報の複数のメカニズムと発現のメカニズムを十分に理解し、説明できるようにする。 ・ 様々な分子生物学的現象に対して、その生物学的意義を考え、説明することができる。 							
【講義概要】							
<p>生命現象の実働因子はタンパク質や RNA である。これらの分子は DNA のもつ情報をもとに合成される。本講義では、この遺伝情報の発現に関わる核酸とタンパク質について説明する。そして、DNA の情報が複製されるメカニズム、DNA の情報から最終的にタンパク質が合成されるメカニズムを解説する。</p>							
【教科書・参考文献】							
<p>サイエンスビュー生物総合資料 長野敬著(実教出版) よくわかる分子生物学の基本と仕組み 井出利憲著(秀和) 他</p>							
回	授業計画及び学習の内容 <small>※講義内容の順番変更あり</small>						
1	プロローグ（授業の進め方、注意事項、成績評価法） 分子生物学とは何か？						
2	生物の特徴						
3	生体を構成する主要物質						
4	細胞と遺伝（細胞／遺伝子と染色体／遺伝）						
5	核酸（DNA と RNA）の遺伝物質としての性質						
6	遺伝情報の担体である DNA と遺伝子の関係						
7	遺伝情報の流れ（セントラルドグマ）						
8	中間試験 解説						
9	遺伝情報の発現①（複製）						
10	遺伝情報の発現①（転写）						
11	遺伝情報の発現③（翻訳）						
12	生体防御（免疫応答）						
13	分子生物学的実験手法①（制限酵素／ゲル電気泳動／PCR）						
14	分子生物学的実験手法②（DNA クローニング DNA 塩基配列決定法）						
15	期末試験 まとめ						
【成績評価方法】							
		評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(提出物)
		100%	40 %	30 %	%	20%	10 %
【教員紹介】							
自衛隊中央病院及び市ヶ谷共済組合診療所において、化学検査及び微生物学検査の技師としての勤務歴あり。							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象														
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・後期														
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数													
基礎	心理学（人文科学）	光木 明美	非該当	2 単位・30 時間													
【授業の到達目標及びテーマ】																	
日常生活に即して、自己と人間関係を考える視点を養う。																	
【講義概要】																	
心理学の多様な研究領域から、人間関係に関わる部分を取り上げて紹介する。 毎回授業内容に関する小レポートを提出してもらう。																	
【教科書・参考文献】																	
【教科書】「人間関係の心理学」斎藤 勇 編（誠信書房）																	
回	授業計画及び学習内容																
1	心理学とは、発達																
2	学習の過程																
3	性格と対人関係 1																
4	性格と対人関係 2																
5	対人認知																
6	人間関係と感情																
7	欲求と行動 1																
8	欲求と行動 2																
9	対人的行動 1																
10	対人的行動 2																
11	集団と行動 1																
12	集団と行動 2																
13	リーダーシップ																
14	偏見																
15	まとめ、期末試験																
【成績評価方法】																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">評価項目</th> <th style="width: 15%;">試験・課題</th> <th style="width: 15%;">小テスト</th> <th style="width: 15%;">レポート</th> <th style="width: 15%;">平常点</th> <th style="width: 20%;">その他（ ）</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">約 70%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">約 30%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> </table>						評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	100%	約 70%	%	約 30%	%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）												
100%	約 70%	%	約 30%	%	%												
【教員紹介】																	
立正大学 大学院文学研究科 修士課程修了後、同大学の哲学科において 7 年間助手の経歴をもつ。立正大学 哲学・心理学会に所属。																	

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・後期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
基礎	倫理学（社会科学）	保田 幸子	なし	2 単位・30 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
<p>(1) 倫理学の主要な立場を説明することができる。</p> <p>(2) 現代社会が直面する倫理的課題について批判的に考えることができる。</p> <p>(3) 授業を通じて、価値観の異なる人々の話を聞き、対話することができる。</p>																
【講義概要】																
<p>この授業では、医療技術の発展により、私たちが直面する倫理的諸問題を考えていきます。</p> <p>まずこうした問題を考えるために倫理学の基本的な3つの考え方について学んでいきます。</p> <p>その後、具体的な諸問題について皆さんと考えます。</p>																
【教科書・参考文献】																
【教科書】なし																
【参考書】授業内において適宜紹介する																
回	授業計画及び学習内容															
1	倫理学とはなにか？															
2	なぜ倫理が必要なのか？															
3	倫理学の3つの立場① 功利主義															
4	倫理学の3つの立場② 義務論															
5	倫理学の3つの立場③ 徳倫理学															
6	これまでの振り返りと小テスト															
7	生命倫理とはなにか															
8	生殖をめぐる生命倫理															
9	治療をめぐる生命倫理															
10	死をめぐる生命倫理															
11	医療行為と法①															
12	医療行為と法②															
13	公衆衛生①															
14	公衆衛生②															
15	まとめと期末試験															
【成績評価方法】																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価項目</th> <th style="width: 15%;">試験・課題</th> <th style="width: 15%;">小テスト</th> <th style="width: 15%;">レポート</th> <th style="width: 15%;">平常点</th> <th style="width: 20%;">その他()</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>50%</td> <td>20%</td> <td>%</td> <td>30%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	100%	50%	20%	%	30%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()											
100%	50%	20%	%	30%	%											
【教員紹介】																
東京工業大学 社会理工学研究科 社会工学専攻 博士課程修了 博士（学術）																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・後期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
基礎	英語（人文科学）	酒井 智子	あり	2 単位・30 時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
<p>教養としての英語力に加え、医療現場で用いられる様々な略語の元となる英単語を理解し、検査業務に従事する際に必要な基礎的英語力も身に着けることを目標とする。</p>							
【講義概要】							
<p>医療現場で使用される英文を題材として、医療英語を学びながら、英文法の基礎が復習できるよう講義する。</p>							
【教科書・参考文献】							
【教科書】 Basic English for Medical Office Assistants（南雲堂）							
【参考書】 再入門用：学んで試せる英文法＋英作文（南雲堂）							
回	授業計画及び学習内容						
1	Lesson 1 : Basic Words and Phrases (1) 【文型①】						
2	Lesson 1 : Basic Words and Phrases (2) 【文型②】						
3	Lesson 2 : Body Parts and Organs (1) 【文の種類①】						
4	Lesson 2 : Body Parts and Organs (1) 【文の種類②】						
5	Lesson 3 : Hospital Registration (1) 【品詞①】						
6	Lesson 3 : Hospital Registration (1) 【品詞②】						
7	Lesson 4 : Hospital Registration Forms 【名詞、冠詞、代名詞】						
8	Lesson 5 : Personal Information (1) 【時制①】						
9	まとめ、中間試験						
10	Lesson 5 : Personal Information (2) 【時制②】						
11	Lesson 6 : Admissions (1) 【前置詞】						
12	Lesson 6 : Admissions (2) 【助動詞】						
13	Lesson 7 : Reception Desk (1) 【助動詞】						
14	Lesson 7 : Reception Desk (2) 【進行形】						
15	Lesson 8 : Review from Lesson 1 to 7 【現在進行形】						
16	まとめ、期末試験						
【成績評価方法】							
		評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）
		100%	約 80%	約 20%	%	%	%
【教員紹介】							
<p>高校英語科教諭として 4 年間勤務後、外資系メーカーで約 5 年間バイリンガル・セクレタリーとして従事した経歴をもつ。</p>							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門基礎	解剖組織学	山木久美	あり	2 単位・30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
解剖組織学は、正常な人体の形態と構造を肉眼的・顕微鏡的に観察し、研究する学問であり、臨床医学の基礎となる。からだの働き（機能）を研究する生理学の授業がよく理解できることを目標とする。						
【講義概要】						
序論では解剖学の歴史や 4 種の組織について学習する。からだの形態・構造を器官系ごとに学習し、器官を構成する基本的な組織構造をマクロからマイクロまで解説する。各器官系終了後には小テストを行い、理解度を確認していく。						
【教科書・参考文献】						
ぜんぶわかる人体解剖図（成美堂出版） ひとの組織学（インターズー）						
回	授業計画及び学習の内容					
1	解剖序論 からだの区分と名称					
2	循環器系① 循環器の概要					
3	循環器系② 脈管・心臓の構造					
4	呼吸器系① 胸部の構造					
5	呼吸器系② 肺の構造と呼吸のしくみ					
6	泌尿器系① 泌尿生殖器の概要					
7	泌尿器系② 腎臓と尿路系の構造					
8	まとめ・中間試験					
9	内分泌系 内分泌系の概要、各内分泌器官とホルモン					
10	消化器系① 消化器系の概要					
11	消化器系② 各消化器の構造、消化・吸収のしくみと消化管の運動					
12	神経系① 神経系の概要、脳の構造としくみ					
13	神経系② 神経・神経伝達のしくみ、中枢神経系と末梢神経系					
14	感覚器系① 感覚器の概要					
15	発生と生殖器 生殖器の構造					
	期末試験					
	人体の骨格（2 回）		組織学（6 回）			
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（記載内容）
	100%	70%	20%	%	10%	%

【教員紹介】

- ・臨床検査技師として日本海総合病院や鶴岡市立荘内病院にて約8年間勤務経験(病理診断科での実務経験)あり。

東京電子専門学校 臨床検査学科

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
専門基礎	生理学	阿部 俊介	あり	2 単位・30 時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
ヒトの各器官・組織・細胞が持つ機能について学ぶ学問である。生理学で学んだ内容は、解剖学と並んで病態を理解する上での重要な基礎となるので、しっかりと身に付けることが求められる。							
【講義概要】							
私たちが何気なく・意識的或いは無意識的に行っている身近な行動（身体的動作・心拍動・呼吸・食べ物の消化など）がどのような仕組み・役割のもと行われているのか、領域ごとに意識的に考え、学ぶ講義となる。							
【教科書・参考文献】							
加藤尚志 他，いちばんやさしい生理学，成美堂出版							
回	授業計画及び学習内容						
1	生理学序論						
2	循環器系生理①						
3	循環器系生理②						
4	呼吸器系生理①						
5	呼吸器系生理②						
6	腎・泌尿器系生理①						
7	内分泌系生理①						
8	まとめ・中間試験						
9	内分泌系生理②						
10	消化器系生理①						
11	消化器系生理②						
12	脳・神経系生理①						
13	脳・神経系生理②						
14	血液・造血系生理						
15	感覚器系生理						
16	期末試験（全範囲）						
【成績評価方法】							
		評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（内容記載）
		100%	100 %	%	%	%	授業態度不良者は減点
【教員紹介】							
臨床検査技師として浴風会病院で主に心電図検査・心臓超音波検査などの循環器系検査に従事していた。							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・後期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門基礎	生化学	北山 茂	あり	2 単位・30 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
生体構成成分の構造と機能を系統的に学修し、その働きから生命を総合的に理解するには、細胞レベルから分子レベルで観ていく必要がある。そのためには生命現象を化学的な視点で修得することを目標とする。																
【講義概要】																
生体構成成分の物質と代謝、エネルギーの生産と調節、酵素反応機構、核酸代謝、細胞の情報伝達、ホルモンの役割について学修する。																
【教科書・参考文献】																
<ul style="list-style-type: none"> ・最新臨床検査学講座 生化学（医歯薬出版） ・ハーパー生化学（丸善出版） 																
回	授業計画及び学習の内容															
1	細胞の構造と機能 ・生体膜 ・細胞内小器官 ・細胞骨格															
2	タンパク質 ・タンパク質の構造と分類 ・タンパク質の分類 ・タンパク質の分離精製と構造解析															
3	酵素 1 ・酵素触媒反応 ・酵素の命名と分類 ・酵素反応速度論															
4	酵素 2 ・酵素反応の阻害 ・酵素の活性調節 ・酵素と医療															
5	糖質 1 ・糖質の構造と分類 ・糖質の化学															
6	糖質 2 ・糖質代謝 ・解糖系と糖新生 ・グリコーゲン代謝															
7	糖質 3 ・クエン酸回路 ・呼吸鎖（電子伝達系） ・ATP 合成系															
8	試験及び解説															
9	脂質 1 ・脂質の化学 ・脂質の構造と分類 ・脂質の消化・吸収															
10	脂質 2 ・脂肪酸の酸化分解 ・コレステロールの代謝 ・リポタンパク質の代謝															
11	アミノ酸 ・アミノ酸の構造 ・メチオニン, クレアチン, クレアチニン代謝 ・尿素の回路															
12	核酸 ・核酸の構造 ・ヌクレオチドの合成、分解 ・核酸代謝															
13	その他の代謝 ・無機質代謝 ・ヘム代謝 ・ビリルビン代謝															
14	細胞制御 ・細胞の機能制御と情報伝達 ・ホルモン ・レセプター															
15	試験及び解説															
【成績評価方法】																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（提出物）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>90 %</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>10%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（提出物）	100%	90 %	%	%	10%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（提出物）											
100%	90 %	%	%	10%	%											
【教員紹介】																
東京女子医科大学病院で臨床検査技師として6年間勤務経験有り。																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
専門基礎	薬理学	新井 智子	あり	1 単位・15 時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
臨床検査技師として身につけておくべき薬の作用機序や体内動態等の基礎知識を学び、それらを基に、臨床検査データの総合的な判断ができる素地を形成する。							
【講義概要】							
毎回、教員作成の講義資料を配布し、それに基づき講義を行う。							
【教科書・参考文献】							
【参考書】「薬がみえる」医療情報科学研究所 編（メディック メディア）							
回	授業計画及び学習内容						
1	4/11	総論(1)	薬の種類と効果、主作用と副作用				
2	4/18	総論(2)	薬の臨床試験、薬物とテーラーメイド医療				
3	4/25	総論(3)	薬の投与経路と代謝				
4	5/2	総論(4)	薬物動態、薬の相互作用				
5	5/9	総論(5)	薬の分子生物学				
6	5/16	各論(1)	感染症治療薬、抗炎症薬、抗がん薬				
7	5/23	各論(2)	降圧薬、疾患治療薬(パーキンソン病・骨粗鬆症)、漢方薬、サプリメント				
8	5/30	まとめ、試験					
【成績評価方法】							
		評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)
		100%	約 85%	%	%	%	約 15%
【教員紹介】							
病院の治験センターに7年間所属して、治験事務局員および治験コーディネーターとして臨床試験に関わる業務に従事した経験を有する。(薬学博士)							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023年度	1年・前期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門基礎	医学概論	近藤 成美	あり	1単位・15時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
様々な観点から医療とは何かを捉え、医療職に求められる専門性について考察できるようになることを目指す。																
【講義概要】																
医療・医学の歴史を概観し、人間の病に関わる医療職としての様々な視点や、事実の包括的な捉え方・論理的な考え方を学ぶ。																
【教科書・参考文献】																
【教科書】 ①「医法学原論[基礎編講義]」（現代社白鳳選書） ②「医学教育概論の実践<第2巻>-医学生の学びから初期研修医の学びへ-」（現代社白鳳選書）																
回	授業計画及び学習内容			日付												
1, 2	オリエンテーション／医療職に求められるもの 健康・病気とは／事実と論理			4/12												
3, 4	臨床医学の学び—人間の生活から病気を考える 医療（診断・治療）と看護／リハビリテーション			4/19												
5, 6	医学史から説く専門課程の学び／臨床検査			4/26												
7, 8	医療過誤／医法学とは医療過誤／医法学とは			5/10												
9, 10	患者の権利／説明と同意／末期医療			5/17												
11	試験			5/24												
【成績評価方法】																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他()</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>約70%</td> <td>約30%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	100%	約70%	約30%	%	%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()											
100%	約70%	約30%	%	%	%											
【教員紹介】																
医師として、佐賀医科大学医学部附属病院・総合診療部、順天堂大学医学部での勤務実績を有し、現在は鶴巻温泉病院で感染管理室長として医療に従事している。(医学博士)																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象														
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期														
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数													
専門基礎	検査機器総論	北山 茂	あり	1 単位・15 時間													
【授業の到達目標及びテーマ】																	
高度化する医療ニーズに対応した検査情報を正確に精度よく迅速に提供するには、検査機器の理解が必要である。検査機器の原理を含めた知識や使用上の留意点を修得することを目標とする。																	
【講義概要】																	
臨床検査で用いられる検査機器の原理、構造、使用上の留意点について学修する。																	
【教科書・参考文献】																	
・最新臨床検査学講座 検査機器総論（医歯薬出版）																	
回	授業計画及び学習の内容																
1	検査機器学総説 ・ 用手法と機械機器 ・ 化学容量器 ・ 秤量装置 ・ 遠心分離装置																
2	共通機械器具 1 ・ 分離分析装置（電気泳動装置） ・ 攪拌装置 ・ 恒温装置 ・ 保冷装置																
3	共通機械器具 2 ・ 滅菌装置 ・ 顕微鏡装置																
4	共通機械器具 3 ・ 測光装置																
5	共通機械器具 4 ・ 電気化学装置（pH メータ） ・ 純水製造装置 ・ 遺伝子検査機器																
6	専門機械機器 1 ・ 生化学自動分析装置 ・ RI 計測装置																
7	専門機械機器 2 ・ 生理機能検査機器 ・ POCT (point of care testing) 対応機器																
8	試験及び解説																
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
【成績評価方法】																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価項目</th> <th style="width: 15%;">試験・課題</th> <th style="width: 10%;">小テスト</th> <th style="width: 10%;">レポート</th> <th style="width: 10%;">平常点</th> <th style="width: 45%;">その他（提出物）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>90 %</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>10%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>						評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（提出物）	100%	90 %	%	%	10%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（提出物）												
100%	90 %	%	%	10%	%												
【教員紹介】																	
東京女子医科大学病院で臨床検査技師として6年間勤務経験有り。																	

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・後期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門基礎	臨床免疫学	新井 智子	あり	2 単位・30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
免疫機構の基本的構成要素である抗原・抗体・補体の特性に関する理解を深め、それらによって引き起こされる種々な免疫反応の原理と特徴を修得する。						
【講義概要】						
教員作成の講義テキストを使用し、質疑応答を取り入れた双方向授業を実施する。 テキストには空欄が設けてあり、講義に合わせて、空欄を埋めてテキストを完成させながら受講する形式で行う。						
【教科書・参考文献】						
【教科書】 「最新臨床検査学講座 免疫検査学」窪田 哲郎 著（医歯薬出版）						
【参考書】 「病気がみえる 免疫・膠原病・感染症」 医療情報科学研究所 編（メディックメディア）						
回	授業計画及び学習内容					
1	10/5	免疫の種類と各機構および特徴				
2	10/12	免疫に関わる細胞、自然免疫(1)				
3	10/19	自然免疫(2)、獲得免疫、抗原提示、MHC 分子				
4	11/2	シグナル伝達、抗体の構造と特徴(1)				
5	11/9	抗体の構造と特徴(2)				
6	11/16	能動免疫と受動免疫、免疫寛容、				
7	11/30	補体の活性化および調節機構				
8	12/7	まとめ、中間試験				
9	12/14	抗原、抗体、ポリクローナル抗体とモノクローナル抗体				
10	1/11	抗原抗体反応に影響する因子、沈降反応(1)				
11	1/18	沈降反応(2)、凝集反応(1)				
12	1/25	凝集反応(2)				
13	2/1	溶解反応、中和反応				
14	2/8	非標識抗原抗体反応、標識抗原抗体反応(1)				
15	2/15	標識抗原抗体反応(2)、抗原抗体反応の感度、検査目的別採血・保存法				
16	2/22	まとめ、期末試験				
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)
	100%	約 85%	%	%	%	約 15%
【教員紹介】						
病院の臨床検査部で 13 年間検体検査業務に携わり、イムノアッセイ検査の実務経験を有する。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・後期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	病理学	山木	あり	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>疾病の原因や病態から疾病のメカニズムを理解する。全身性病変や臓器局在病変について理解する。 各器官における疾病の肉眼的および組織学的変化について理解する。</p>						
【講義概要】						
<p>総論では、組織細胞傷害や代謝異常、循環障害、炎症、免疫異常、腫瘍などについて、疾病の原因や病態から疾病のメカニズムを学ぶ。各論では、各器官における疾病の肉眼的および組織学的変化による分類について学ぶ。</p>						
【教科書・参考文献】						
最新臨床検査学講座 病理学/病理検査学 松原 修 他 医歯薬出版						
回	授業計画及び学習の内容					
1	病理学の領域、細胞・組織とその障害、再生と修復					
2	循環障害、炎症					
3	免疫とアレルギー、感染症					
4	代謝異常、老化と老年病					
5	新生児の病理、先天異常					
6	腫瘍					
7	生命の危機、循環器系					
8	呼吸器系					
	中間試験					
9	歯・口腔系、消化器系①（食道・胃・腸）					
10	消化器系②（肝・胆・膵）					
11	内分泌系・造血器系					
12	腎泌尿器系					
13	生殖器・乳腺					
14	脳・神経系					
15	運動器・感覚器系					
	期末試験					
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（記載内容）
	100%	70%	20%	%	10%	%
【教員紹介】						
臨床検査技師として日本海総合病院や鶴岡市立荘内病院にて約 8 年間勤務経験（病理診断科での実務経験）あり。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	チーム医療	塚田 他	あり	2 単位・30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
医療職者として必要なことを踏まえたうえで、医師を中心とした各種専門医療職者で形成されるチーム医療について学び、臨床検査技師の特性をいかにしながら連携して医療に貢献することの重要性を認識する。						
【講義概要】						
臨床経験をもつ専任教員と現在臨床領域で活躍している非常勤講師によるオムニバス形式の授業となる。臨床検査技師としての医療への貢献にも多様な形があることを紹介する。						
【教科書・参考文献】						
【教科書】 使用しない。教員作成資料を配布する。						
【参考書】 「臨床検査技師のためのチーム医療教本」 日本臨床衛生検査技師会 監修（じほう）						
回	授業計画及び学習内容	日付	担当教員			
1	チーム医療総論、メンタルヘルス	5/31	塚田			
2	糖尿病指導士、胚培養士					
3	放射線技師および臨床工学技士の紹介	6/7	塚田 伴場			
4	喫煙と肺癌					
5	生殖補助医療	6/14	加藤			
6						
7	臨床試験・治験・治験コーディネーター	6/21	新井			
8						
9	栄養サポートチーム (NST)	6/28	柿木			
10						
11	医療現場における多職種連携	7/4(火)	大城			
12						
13	病理検査分野のチーム医療	7/12	峯尾			
14						
15	病院見学	未定	塚田			
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()
	100%	%	%	50%	50%	%
【教員紹介】						
塚田敏彦：虎の門病院臨床検査部室長、稲田登戸病院臨床検査科技師長として 30 年の実務経験あり。						
伴場次郎：聖路加国際病院および虎の門病院の呼吸器外科医として 30 年の実務経験あり。						
新井智子：虎の門病院・治験センターで治験コーディネーターおよび治験事務局業務の実務経験(7 年)あり。						
加藤真吾：2019 年に(株)ハナ・メディックを立ち上げ、HIV 検査の受託を通して生殖補助医療に貢献している。						

柿木孝志：東邦大学医学部附属大橋病院・臨床検査部に所属し、2006年からNST委員を務めている。

峯尾松一郎：1998年より東京医科大学・分子病理学に所属し、臨床検査技師として病理検査業務に従事している。

大城雄介：国立国際医療研究センター病院・中央検査部門で、主任臨床検査技師として検査業務に従事している。

東京電子専門学校 臨床検査学科

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門基礎	医用工学	荒井 健一	あり	2 単位・30 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
医用電子工学の基礎理論、生体情報計測の基礎と応用、医療機器と安全、などについて学び、医用電子機器の特性やその安全対策について理解する。																
【講義概要】																
総論では、生体物性について生理解剖学の復習を行う。各論では、電気・電子工学、医用電子回路、生体情報の収集、増幅器、安全対策について学ぶ。																
【教科書・参考文献】																
最新臨床検査学講座 医用工学概論 鳴津 秀昭 他 医歯薬出版																
回	授業計画及び学習内容															
1	生体の物理的特性・基礎について															
2	電気・電子回路の基礎について①（オームの法則、キルヒホッフの法則）															
3	電気・電子回路の基礎について②（ジュールの法則、ブリッジ回路）															
4	電気・電子回路の基礎について③（交流回路の基本的性質、交流回路における受動素子）															
5	電気・電子回路の基礎について④（過渡現象と時定数、半導体の性質と用途）															
6	医用電子回路について①（アナログ回路：電源回路、増幅回路）															
7	医用電子回路について②（デジタル回路）															
8	中間試験及び解説															
9	生体情報収集について①（トランジューサの原理・構造）															
10	生体情報収集について②（物理量センサ・トランスジューサ）															
11	生体情報収集について③（トランスジューサを用いた計測：血圧・血流、その他）															
12	電氣的安全対策①（電撃に対する人体反応）															
13	電氣的安全対策②（医用電気機器の安全基準）															
14	電氣的安全対策③（病院電気設備の安全基準）															
15	期末試験及び解説															
【成績評価方法】																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他(参加度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>60%</td> <td>30%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)	100%	60%	30%	%	%	10%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)											
100%	60%	30%	%	%	10%											
【教員紹介】																
臨床検査技師として亀田総合病院で約8年間、健診や超音波検査（腹部・脈管・体表）に従事していた。																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・後期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門基礎	生理学・医用工学実習	荒井/阿部	あり	1 単位・30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
生理学および医用工学で学んだ知識をより確かなものとし、臨床生理学を学ぶ上での助けとなることを目標とする。						
【講義概要】						
実習は実技を重視して、臨床検査技師が日常行う検査を重点に置いて行う。できるだけ多くの生理検査機器を使用し、生体現象を測定するための基本と、機器の測定方法や電気的な項目についても学ぶ。(1 回 2 コマ)						
【教科書・参考文献】						
教科書なし。 講義時に配布した資料参照。						
回	授業計画及び学習内容					
1	ガイダンス					
2	(荒井①) 心電図と時定数回路					
3	(阿部①) 心電図に関する実習					
4	(荒井②) 聴力・脳波検査に関する実習					
5	(阿部②) 血圧・足関節上腕血圧比・脈波に関する実習					
6	(荒井③) 呼吸機能検査とトランスデューサ					
7	(阿部③) 自律神経に関する実習					
8	(荒井④) 超音波機器と医用超音波・安全について					
9	(阿部④) 感覚器に関する実習					
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(内容記載)
	100%	20%	%	40%	40%	%
【教員紹介】						
(荒井) 亀田総合病院で検診業務および超音波検査技師として勤務経験有り。						
(阿部) 臨床検査技師として浴風会病院で主に心電図検査・心臓超音波検査などの循環器系検査に従事していた。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門基礎	情報科学	荒井 健一	あり	1 単位・15 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
IT 技術の仕組みを簡単に説明できるようになる。						
【講義概要】						
情報理論の基礎、コンピュータ技術の基礎、ネットワーク・コンピュータ制御の基礎と医療情報システムとセキュリティについて学ぶ。						
【教科書・参考文献】						
臨床工学講座 医用情報処理工学 第2版 戸畑 裕志 他 医歯薬出版						
回	授業計画及び学習内容					
1	医療と情報技術について					
2	デジタルデータの表し方、論理回路及び信号処理について					
3	コンピュータの基本構成及び動作原理について					
4	プログラミングの基礎、データベース、データ通信とネットワークについて					
5	コンピュータの保守管理、制御について					
6	コンピュータによる医療機器への応用					
7	医療情報システムおよびセキュリティ対策について					
8	まとめ、試験					
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)
	100%	80%	%	%	%	20%
【教員紹介】						
臨床検査技師として亀田総合病院で約8年間、健診や超音波検査（腹部・脈管・体表）に従事していた。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・後期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門	臨床病態学	塚田 敏彦	あり	2 単位・30 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
<p>各疾患の原因と病態を説明できる。病態に応じた診断と検査が説明できる。</p> <p>臨床検査技師として必須となる各種疾患の病態生理学の知識と臨床検査データとの関連性を修得する。</p>																
【講義概要】																
<p>各種疾患について症状と検査値の関係が理解できるよう、画像や動画を用いて視覚的に学習する。</p> <p>2 年生で履修する「臨床検査医学」の基盤となる講義を行う。資料配布・小テスト等</p>																
【教科書・参考文献】																
<p>【教科書】 ビジュアルノート(MEDIC MEDIA)、</p> <p>【参考書】 みえる人体:構造・機能・病態(南江堂)、のほほん解剖生理学(永岡書店)、</p>																
回	授業計画及び学習の内容															
1	概論															
2	解剖生理学															
3	消化器系疾患															
4	循環器系疾患															
5	内分泌・代謝系疾患															
6	腎・泌尿器系疾患															
7	中間試験および解説															
8	脳・神経系疾患															
9	血液・造血器系疾患															
10	内分泌系疾患															
11	代謝性疾患															
12	膠原病・免疫疾患															
13	悪性腫瘍疾患															
14	婦人科疾患															
15	期末試験および解説															
【成績評価方法】																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価項目</th> <th style="width: 15%;">試験・課題</th> <th style="width: 10%;">小テスト</th> <th style="width: 10%;">レポート</th> <th style="width: 10%;">平常点</th> <th style="width: 45%;">その他()</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">60%</td> <td style="text-align: center;">30%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">10%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	100%	60%	30%	%	10%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()											
100%	60%	30%	%	10%	%											
【教員紹介】																
<p>KKR 虎の門病院臨床検査部室長、その後 KKR 稲田登戸病院臨床検査科技師長(出向)として 30 年の実務経験あり。</p> <p>冲中成人病研究所研究員、順天堂大学臨床病学教室協力研究員： 臨床検査技師・医学博士</p>																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
専門	一般検査学	塚田 敦子	あり	2 単位・30 時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
一般検査における ①スクリーニング ②確定診断 ③治療後のフォローアップの各段階におけるの意義と臨床的評価について理解する。							
【講義概要】							
一般検査で扱う各測定項目の基礎知識・測定原理・特異性を理解し、得られた結果には偽陽性の可能性が潜在する可能性を知る。それらを踏まえたうえで、各検査の意義と臨床的評価について学習する。							
【教科書・参考文献】							
【教科書】「最新臨床検査学講座 一般検査学」三村邦裕・宿屋健一 編（医歯薬出版）							
【参考書】「一般検査技術教本」日本臨床衛生検査技師会 監修（じほう）							
回	授業計画及び学習内容						
1	一般検査学の概要、尿の基礎知識（腎臓のしくみと構造）						
2	検体採取法と取り扱い、尿の一般性状						
3	尿定性試験、尿の化学的検査（比重・浸透圧・pH）						
4	尿化学検査（蛋白・糖・アセトン体）						
5	尿化学検査（ビリルビン・ウロビリニン体・潜血反応）						
6	尿化学検査（亜硝酸塩・白血球・尿中抗原・アスコルビン酸・乱用薬物・HCG）						
7	尿化学検査（代謝異常）、腎機能検査						
8	まとめ、中間試験						
9	尿沈渣検査(1)						
10	尿沈渣検査(2)						
11	尿沈渣検査(3)						
12	糞便検査、喀痰検査						
13	脳脊髄液検査						
14	穿刺液検査						
15	精液検査、BALF、CAPD、関節液、その他の検査						
16	まとめ、期末試験						
【成績評価方法】							
		評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()
		100%	100%	%	%	%	%
【教員紹介】							
臨床検査技師として、虎の門病院臨床化学検査部で7年間、ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社で3年間の実務経験を有する。							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・通年	
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
実習	基礎医学実習	学科教員 他	あり	2 単位・60 時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
臨床検査の各種領域で必要となる検査手技の基本操作について、実践を通して修得し、その後に行う専門的な検査手技および科学的な思考の基礎を構築することを目的とする。				
【講義概要】				
臨床検査の各領域の基礎となる様々な実習を、複数教員のオムニバス形式で実施する。(1 回 2 コマ) 実施内容によって、使用する実習室が異なるため、注意すること。				
【教科書・参考文献】				
教員作成資料を配布する。				
回	授業計画及び学習の内容			担当教員
前期 1-①	スパイロ測定		4/24	荒井
前期 1-②			5/1	
前期 2-①	心電図測定 (四肢誘導)		5/8	阿部
前期 2-②			5/15	
前期 3-①	顕微鏡操作法/赤血球観察		5/22	堀江・山木
前期 3-②			5/29	
前期 4-①	組織観察 I		6/5	堀江・山木
前期 4-②			6/12	
前期 5-①	組織観察 II		6/19	堀江・山木
前期 5-②			6/26	
前期 6-①	組織観察 III		7/3	堀江・山木
前期 6-②			7/10	
前期 7-①	2041/42 実習室使用ルール、器具の洗浄方法、希釈操作の実施と検証		9/4	新井・塚田
前期 7-②			9/11	
後期 1-①	分光光度計のしくみ、使用方法、検量線作成		10/13	北山・大田和
後期 1-②			10/20	
後期 2-①	電子天秤の使用法、微量ピペットの検定、遠心分離機の使用法		11/10	北山・大田和
後期 2-②			11/17	
後期 3-①	尿沈渣鏡検		11/24	塚田(敦)
後期 4-①	便潜血検査			塚田(敏)
後期 3-②	尿沈渣鏡検		12/1	塚田(敦)
後期 4-②	便潜血検査			塚田(敏)
後期 5-①	尿定性検査		12/8	塚田(敦)
後期 6-①	尿中クレアチニン測定			塚田(敏)

後期 5-②	尿定性検査	12/15	塚田(敦)
後期 6-②	尿中クレアチニン測定		塚田(敏)
後期 7-①	グラム染色	1/12	須崎、大田和
後期 7-②		1/19	
後期 8-①	塗抹法	1/26	須崎、大田和
後期 8-②		2/2	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)
100%	%	%	90%	%	10%

【教員紹介】

病院検査部での実務経験あり：塚田敏彦、新井智子、北山茂、大田和伸裕、山木久美、荒井健一、阿部俊介、塚田敦子

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 学年 後期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	血液学	堀江 巧	なし	2 単位・30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
血液学の一般的知識から各種血球の形態・成熟・機能及び止血機構（一次止血・二次止血）や線溶系について総合的に説明する。						
【講義概要】						
血液学は、血液疾患を知る上で重要な科目である。 基礎を学ぶことで血液疾患の診断・治療・予後の判定等につながる						
【教科書・参考文献】						
最新血液検査学（臨床検査学講座） 医歯薬出版 奈良 信雄 血液細胞ノート文光堂 久保田 勝秀他						
回	授業計画及び学習の内容					
1	血液学総論（成分・性状）					
2	血液学総論（血球の分化・成熟）					
3	血液学総論(造血・個体発生)					
4	赤血球系（産生・崩壊）					
5	赤血球系（形態・機能）					
6	赤血球系（代謝・分解）					
	試験					
7	白血球系（産生・崩壊）					
8	白血球系（形態・機能）Ⅰ					
9	白血球系（形態・機能）Ⅱ					
10	白血球系（形態・機能）Ⅲ					
11	血小板系（産生・崩壊）					
12	血小板系（形態・機能）					
13	凝固系（機序・凝固因子）					
14	凝固系（産生・機序）					
15	線溶系（構造・機能）					
	試験					
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席点)
	100%	試験 2 回の 平均 100%	%	%	%	加算 5 点
【教員紹介】						
臨床検査技師免許取得後 4 4 年間、血液・病理系を中心に臨床検査技師教育に携わる。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・後期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	医動物学	杉山 広	あり	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
臨床検査の実務に携わる際に、我が国で遭遇し得る寄生虫(症)について、感染様式や症状を理解する。 検査方法を適切に選択して実施するために必要な知識を習得する。						
【講義概要】						
寄生虫や病原体を媒介する衛生動物について、種類毎に感染様式・症状・検査法等を解説する。						
【教科書・参考文献】						
【教科書】 最新臨床検査学講座 医動物学 第2版 (平山謙二 著) ポケットマスター臨床検査知識の整理 医動物学 (新臨床検査技師教育研究会編)						
回	授業計画及び学習の内容					
1	寄生虫の分類と形態、寄生虫疾患の症状と病態像					
2	寄生虫疾患の病理					
3	寄生虫感染時の宿主免疫応答と血清診断法					
4	線虫症Ⅰ (線虫総論、回虫、鉤虫、鞭虫)					
5	線虫症Ⅱ (蟯虫、糞線虫、アニサキス、旋毛虫)					
6	線虫症Ⅲ (トキソカラ属回虫、広東住血線虫、顎口虫、旋尾線虫、糸状虫)					
7	吸虫症Ⅰ (吸虫総論、住血吸虫、肝蛭、棘口吸虫)					
8	吸虫症Ⅱ (肝吸虫、メタゴニムス属吸虫、肺吸虫)					
9	まとめ、中間試験					
10	条虫症Ⅰ (条虫総論、裂頭条虫)					
11	条虫症Ⅱ (テニア属条虫、エキノコックス)					
12	原虫症Ⅰ (原虫総論、赤痢アメーバ、ランブル鞭毛虫、クリプトスポリジウム)					
13	原虫症Ⅱ (膾トリコモナス、トリパノソーマ、トキソプラズマ)					
14	原虫症Ⅲ (マラリア)					
15	衛生動物(ダニ、昆虫)					
16	まとめ、期末試験					
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()
	100%	90%	%	%	10%	%
【教員紹介】 1990 年より国立感染症研究所 寄生動物部 主任研究官として実務に従事している。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・後期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門	医動物学実習	杉山 広	あり	1 単位 30 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
講義で学んだ寄生虫症について、適切に検査方法を選択し、それを正しく実施して、同定できる力を習得する。																
【講義概要】																
各回で取り扱う寄生虫について、講義で基礎知識を学んだ後、実習でその寄生虫の標本作成や標本観察を行う。 (1 回 1 コマ×2)																
【教科書・参考文献】																
【教科書】 最新臨床検査学講座 医動物学 第 2 版 (平山謙二 著)																
回	授業計画及び学習の内容															
1	線虫類Ⅰ. 虫卵標本の観察 (回虫、鉤虫、鞭虫) ①															
2	線虫類Ⅰ. 虫卵標本の観察 (回虫、鉤虫、鞭虫) ②															
3	線虫類Ⅱ. 虫卵・幼虫標本の観察 (蟯虫、糞線虫、アニサキス、旋毛虫、糸状虫) ①															
4	線虫類Ⅱ. 虫卵・幼虫標本の観察 (蟯虫、糞線虫、アニサキス、旋毛虫、糸状虫) ②															
5	線虫類Ⅲ. 標本観察 (イヌ・ネコ回虫、広東住血線虫、顎口虫) ①															
6	線虫類Ⅲ. 標本観察 (イヌ・ネコ回虫、広東住血線虫、顎口虫) ②															
7	吸虫類Ⅰ. 虫卵標本の観察 (住血吸虫、肝蛭、棘口吸虫)															
8	吸虫類Ⅱ. 虫卵標本の観察 (肝吸虫、横川吸虫、肺吸虫)															
9	条虫類Ⅰ. 虫卵観察 (裂頭条虫、小形条虫、縮小条虫、無鉤条虫) ①															
10	条虫類Ⅰ. 虫卵観察 (裂頭条虫、小形条虫、縮小条虫、無鉤条虫) ②															
11	条虫類Ⅱ. 幼虫・成虫の観察 (裂頭条虫、エキノコックス)															
12	原虫類Ⅰ. 標本観察 (赤痢アメーバ、ランブル鞭毛虫、クリプトスポリジウム)															
13	原虫類Ⅱ. 標本観察 (臈トリコモナス、トリパノソーマ、トキソプラズマ)															
14	原虫類Ⅲ. 標本観察 (マラリア)															
15	衛生動物. 標本観察 (ダニ、昆虫)															
16	期末試験															
【成績評価方法】																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価項目</th> <th style="width: 15%;">試験・課題</th> <th style="width: 10%;">小テスト</th> <th style="width: 10%;">レポート</th> <th style="width: 10%;">平常点</th> <th style="width: 45%;">その他()</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">90%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">10%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	100%	90%	%	%	10%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()											
100%	90%	%	%	10%	%											
【教員紹介】 1990 年より国立感染症研究所 寄生動物部 主任研究官として実務に従事している。																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
専門基礎	生体防御学	新井 智子	あり	1 単位・15 時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
生体防御機構の基礎を具体的なイメージをもって理解し、その知識を臨床検査に関わる様々な科目で応用できる素地を作ること为目标とする。							
【講義概要】							
生体防御機構の基礎について、図を多用しながらわかりやすく解説する。 各回の終わりに学習内容に関する練習問題を実施してもらうことで、その回の理解度を確認する。							
【教科書・参考文献】							
【教科書】「休み時間の免疫学」 齋藤 紀先 著（講談社）							
回	授業計画及び学習内容						
1	6/6 細菌に対する防御反応						
2	6/13 抗体産生機構						
3	6/20 ウイルス感染に対する防御反応						
4	6/27 生体防御に関わる物質と細胞						
5	7/4 リンパ球の派生・分化・役割						
6	7/11 生体防御機構が関連する疾患：アレルギー①						
7	7/18 生体防御機構が関連する疾患：アレルギー②、HIV 感染症						
8	9/5 まとめ、試験						
【成績評価方法】							
		評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)
		100%	約 85%	%	%	%	約 15%
【教員紹介】							
病院の臨床検査部で 13 年間検体検査業務に携わり、免疫アッセイ検査の実務経験を有する。							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
医療専門課程	臨床検査学科	2023年度	1年・前期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
専門	臨床微生物検査学 I	須崎 由美	なし	2単位 30時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
微生物の病原性と感染の仕組みを理解し、病原性と遺伝子、感染症治療薬に関する検査の理論と実際を修得し、結果の意義及び評価について学修する。							
【講義概要】							
前半で微生物の形態、生理と機能、遺伝、抗菌薬について、後半で細菌（グラム陽性球菌・グラム陰性球菌・グラム陰性桿菌）についての特徴、検査方法について学ぶ。							
【教科書・参考文献】							
臨床検査学講座 臨床微生物検査学（出版社：医歯薬出版）							
回	授業計画及び学習の内容						
1	微生物とは、病原微生物の分類（細菌、真菌、ウイルスの違い）						
2	細菌の形態と構造、代謝と発育						
3	発育条件（酸素要求性）と培養・培地について						
4	遺伝と変異、滅菌と消毒						
5	化学療法とワクチン						
6	正常細菌叢、病原性と抵抗力						
7	感染症について						
8	中間試験及び解説						
9	グラム陽性球菌①（ <i>Staphylococcus</i> 属）						
10	グラム陽性球菌②（ <i>Streptococcus</i> 属、 <i>Enterococcus</i> 属）						
11	グラム陰性球菌および球桿菌（ <i>Neisseria</i> 科、 <i>Moraxella</i> 科）						
12	グラム陰性桿菌①（腸内細菌科）						
13	グラム陰性桿菌②（ビブリオ科）						
14	グラム陰性桿菌③（パスツレラ科）						
15	期末試験及び解説						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席点・提出物)	
		100%	80%	0%	0%	0%	20%
【教員紹介】							
アロカ（株）にて MEG・ラジオ波焼灼術の営業技術として勤務。半年間病院勤務の経験あり。							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
医療専門課程	臨床検査学科	2023年度	1年・後期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
専門	臨床微生物検査学Ⅱ	須崎 由美	なし	2単位 30時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
医学検査の基礎として、微生物（細菌・真菌・ウイルス）の性質、感染の仕組みおよび感染症の予防・治療について学び、基本的な知識を身につけることを目標とする。							
【講義概要】							
様々な感染症が流行し、治療法が進むことで新たな薬剤耐性菌も問題になってきている。それらの変化に対し前半では一般的な微生物の特徴について、中～後半は各微生物の特徴・検査法を学ぶ。							
【教科書・参考文献】							
臨床検査学講座 臨床微生物検査学（出版社：医歯薬出版）							
回	授業計画及び学習の内容						
1	グラム陰性桿菌④（ブドウ糖非発酵菌群）						
2	グラム陰性桿菌⑤（レジオネラ科）						
3	グラム陰性らせん菌（ <i>Helicobacter</i> 、 <i>Campylobacter</i> ）						
4	グラム陽性桿菌①（有芽胞菌： <i>Bacillus</i> 属、 <i>Clostridium</i> 属）						
5	グラム陽性桿菌②（ジフテリア）						
6	グラム陽性桿菌③（好酸性の桿菌）						
7	特殊な細菌（スピロヘータ、レプトスピラ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア）						
8	中間試験及び解説						
9	偏性嫌気性菌						
10	真菌①（細菌と真菌の発育様式の違い）						
11	真菌②（酵母菌）						
12	真菌③（糸状菌）						
13	ウイルス①（細菌とウイルスの発育様式の違い）						
14	ウイルス②（各ウイルスの特徴）						
15	期末試験及び解説						
【成績評価方法】							
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席点・提出物)	
		100%	90%	0%	0%	0%	10%
【教員紹介】							
アロカ（株）にて MEG・ラジオ波焼灼術の営業技術として勤務。半年間病院勤務の経験あり。							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
専門	生理機能検査学 I	阿部 俊介	あり	2 単位・30 時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
生理機能検査学 I では、生理機能検査の中で最も基本的なものである心電図検査について学習する。心電図の様々な異常波形について、判読手順例を参考に自らの力で判読し、診断名を導けるようになることを目標とする。							
【講義概要】							
当講義では循環生理学の知識を元に、まず総論では心電図の波形の成り立ちなど基礎を学び、正常波形を学習する。次いで、各論では判読手順毎の心電図診断について学習していく。							
【教科書・参考文献】							
大島一太，これならわかる！心電図の読み方，ナツメ社							
回	授業計画及び学習内容						
1	心電図概要（刺激伝導系と心電図波形の紐付け・心拍数計測・心電図波形の基準値）						
2	様々な心電図波形と計測①						
3	様々な心電図波形と計測②						
4	標準 1 2 誘導心電図・正常波形						
5	心電図各論 異常波形①						
6	心電図各論 異常波形②						
7	心電図各論 異常波形③						
8	心電図各論 異常波形④						
9	心電図各論 異常波形⑤						
10	心電図各論 異常波形⑥						
	中間試験						
11	心電図各論 異常波形⑦						
12	心電図各論 異常波形⑧						
13	ホルター心電図・モニター心電図						
14	心電図判読演習①						
15	心電図判読演習②						
	期末試験						
【成績評価方法】							
		評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（内容記載）
		100%	100 %	%	%	%	授業態度不良者は減点
【教員紹介】							
臨床検査技師として浴風会病院で主に心電図検査・心臓超音波検査などの循環器系検査に従事していた。							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・後期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	生理機能検査学Ⅱ	荒井 健一	あり	2 単位・30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
呼吸機能・血液ガス・脳波・運動誘発電位・体性感覚誘発電位に係る仕組みを理解し、検査の理論と実際を修得し結果の解析と評価について学修する。また、検査時の緊急対応についても学ぶ。						
【講義概要】						
総論では、検査対象臓器の生理解剖学の復習を行う。各論では、各検査の基準値や波形の成り立ちを学び、検査手技・禁忌事項・各症例の特徴的を学ぶ。						
【教科書・参考文献】						
最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版 東條 尚 他 医歯薬出版						
回	授業計画及び学習内容					
1	呼吸の解剖生理について					
2	換気機能検査①（スパイロメトリ、フローボリューム曲線、機能的残気量、肺コンプライアンス）					
3	換気機能検査②（気道抵抗、呼吸抵抗、気導可逆性試験・気導過敏性試験、呼吸筋機能検査）					
4	肺胞機能検査①（換気の不均等分布の検査法、一酸化炭素の拡散能力）					
5	肺胞機能検査②（シャント・拡散能・換気血流比不均等）					
6	血液ガス検査①（血液ガス分析、測定原理、分析装置）					
7	血液ガス検査②（動脈血採血の方法と検体取扱い、測定結果の判定、パルスオキシメータ）					
8	中間試験及び解説					
9	神経・筋の解剖生理について					
10	脳波検査①（機器原理、基礎波形、電極配置、導出法、賦活法、アーチファクト）					
11	脳波検査②（異常波形判読要点、背景活動の異常、突発性異常、てんかん、器質的疾患、意識障害）					
12	誘発電位（聴覚誘発電位、視覚誘発電位、体性感覚誘発電位、事象関連電位）					
13	筋電図検査①（筋電図検査：原理、正常所見と異常所見、関連疾患）					
14	筋電図検査②（神経伝導検査：原理、適応と禁忌、正常所見と異常所見、反復神経刺激検査）					
15	運動誘発電位（適応と禁忌、原理、検査手技、判読）					
16	期末試験					
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（参加度）
	100%	70%	20%	%	10%	
【教員紹介】						
臨床検査技師として亀田総合病院で約8年間、健診や超音波検査（腹部・脈管・体表）に従事していた。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門	臨床検査概論	新井 他	あり	1 単位・15 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
臨床検査技師が扱う検査には様々な領域があり、各々の領域でどのような検査が行われ、その結果がどのように臨床で役立っているのかの概要を、具体的なイメージをもって理解する。																
【講義概要】																
臨床検査の各領域における業務内容の概要について、担当教員によるオムニバス形式で講義を行う。 今後 3 年間で学習する臨床検査の導入科目として位置付ける。																
【教科書・参考文献】																
使用しない。教員作成資料を配布する。																
回	授業計画及び学習内容	日付	担当教員													
1	微生物検査	4/11	須崎													
2	生理検査①	4/18	荒井													
3	生理検査②	4/25	阿部													
4	病理検査	5/2	山木													
5	一般検査	5/9	北山													
6	血液検査	5/16	堀江													
7	臨床化学検査	5/23	大田和													
8	免疫・輸血検査	5/30	新井													
【成績評価方法】																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価項目</th> <th style="width: 15%;">試験・課題</th> <th style="width: 10%;">小テスト</th> <th style="width: 10%;">レポート</th> <th style="width: 10%;">平常点</th> <th style="width: 45%;">その他(参加度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>約 85%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>約 15%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)	100%	約 85%	%	%	%	約 15%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)											
100%	約 85%	%	%	%	約 15%											
【教員紹介】																
病院検査部での実務経験を有する教員：須崎由美（多摩川総合病院）、荒井健一（亀田総合病院）、阿部俊介（浴風会病院）、山木久美（山形県鶴岡市立病院）、北山茂（東京女子医科大学）、大田和伸裕（自衛隊中央病院）、新井智子（虎の門病院）																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象														
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	1 年・前期														
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数													
独自科目	CPU 講座	須崎 由美	あり	15 時間 (1 単位)													
【授業の到達目標及びテーマ】																	
<p>パーソナルコンピュータは、仕事はもちろん日常生活のさまざまなシーンで活用できる。家族や友達とメールしたり、インターネットで調べものをしたりするだけではなく、音楽や映像、写真や文書なども取り扱える。学生のライフスタイルを充実させるべくコンピュータの基本操作を習得させる。</p>																	
【講義概要】																	
<p>文書作成ソフト (Word) や表計算ソフト (Excel) を用いて実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身につける。またプレゼンソフト (PowerPoint) を用いプレゼン資料における「見やすさ」「伝わりやすさ」などを理解し、情報機器など情報社会に関する知識を視覚的に身に付ける。</p>																	
【教科書・参考文献】																	
<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料 ・できるゼロからはじめる Mac 入門 																	
回	授業計画及び学習の内容 <small>*講義内容の順番変更あり</small>																
1	サポートソフト (google classroom) の使用方法																
2	Windows パソコンの便利な使い方 (基本操作/ショートカットキー) /アプリケーションソフト [文書作成]																
3	アプリケーションソフト [文書作成]																
4	アプリケーションソフト [表計算]																
5	アプリケーションソフト [プレゼンテーション]																
6	アプリケーションソフト [プレゼンテーション]																
7	アプリケーションソフト [プレゼンテーション] 自己紹介作成																
8	アプリケーションソフト [プレゼンテーション] 自己紹介発表																
【成績評価方法】																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価項目</th> <th style="width: 15%;">試験・課題</th> <th style="width: 15%;">小テスト</th> <th style="width: 15%;">レポート</th> <th style="width: 15%;">平常点</th> <th style="width: 20%;">その他(提出物)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>20%</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table>						評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(提出物)	100%	%	%	%	20%	80%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(提出物)												
100%	%	%	%	20%	80%												
【教員紹介】																	
アロカ (株) にて MEG・ラジオ波焼灼術の営業技術として勤務。半年間病院勤務の経験あり。																	

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年 前期	
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
基礎	医学英語	塚田 敦子	あり	2 単位 30 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

医療人として不可欠な、身体の部位や機能・医療と健康に関する基本的な専門用語の英単語を知り、医療分野の英文を読みこなせるようになることを目標とする。

【講義概要】

Vocabulary と Reading に重点を置き、まず基本的な人体の構造・機能・疾患について英文で理解を深める。次に尿と便に関する一般検査、最後に感染症と生活習慣病の原因・症状・予防法に関する英文を読解する。

【教科書・参考文献】

【参考書】 やさしい医学英語 Introduction to Medical English (医学書院)

Laboratory Medicine Illustrated (シスメックス)、ホスピタル・イングリッシュ 2-Vital Signs 2 (南雲堂)

回	授業計画及び学習の内容
1	医学英語の構成、医学専門用語 (体・臓器・数・色・学問・診療科・スタッフ etc.)
2	Circulatory System & Disorders (循環器系のしくみと疾患)
3	Blood & Disorders of the blood (血液と血液疾患)
4	Respiratory System & Disorders (呼吸器系のしくみと疾患)
5	Digestive System & Disorders (消化器系のしくみと疾患)
6	Urinary System & Disorders (泌尿器系のしくみと疾患)
7	A Story of Pee ① (尿①)
8	A Story of Pee ② (尿②)
9	A Story of poop ① (便①)
10	A Story of poop ② (便②)
11	A Story of Viral Infectious Disease ① (ウイルス感染症①)
12	A Story of Viral Infectious Disease ② (ウイルス感染症②)
13	検査医学に関係ある英略語
14	A Story of Lifestyle Disease ① (生活習慣病①)
15	A Story of Lifestyle Disease ② (生活習慣病②)

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()
100%	%	80%	%	20%	

※授業で毎回約 20 分間の小テストを実施する

【教員紹介】 臨床検査技師として、虎の門病院臨床化学検査部で 7 年間、ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社で 3 年間の実務経験を有する。

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年・前期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
基礎	保健体育	山木久美	あり	1 単位・30 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
ストレッチにより柔軟性を高めたり、筋力トレーニングを行ったりすることで、自律神経のバランスを整え、心身ともに調和のとれた、活力ある学生生活が送れるようにする。また、軽井沢セミナーハウスや公共体育館等で校外学習を行い、様々なスポーツを通して親睦を深める。また、性行為感染症について学ぶ。																
【講義概要】																
STI（性感染症）講習では、性感染症の正しい知識をみにつける。																
【教科書・参考文献】																
関節の動きがよくわかる DVD 可動域ストレッチ&トレーニング事典																
回	授業計画及び学習内容															
1	柔軟運動 リズム運動 体力測定① 整理運動（ストレッチ）															
2	柔軟運動 リズム運動 筋力トレーニング 整理運動（ストレッチ）															
3	柔軟運動 リズム運動 筋力トレーニング 整理運動（ストレッチ）															
4	柔軟運動 リズム運動 筋力トレーニング 整理運動（ストレッチ）															
5	柔軟運動 リズム運動 筋力トレーニング 整理運動（ストレッチ）															
6	柔軟運動 リズム運動 筋力トレーニング 整理運動（ストレッチ）															
7	柔軟運動 リズム運動 筋力トレーニング 整理運動（ストレッチ）															
8	柔軟運動 リズム運動 体力測定② 整理運動（ストレッチ）															
9	軽井沢研修															
10	軽井沢研修															
11	軽井沢研修															
12	バドミントン（豊島体育館）															
13	バドミントン（豊島体育館）															
14	STI（性行為感染症）講習															
15	STI（性行為感染症）講習															
【成績評価方法】																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（内容記載）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>50%</td> <td>50%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（内容記載）	%	%	%	50%	50%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（内容記載）											
%	%	%	50%	50%	%											
【教員紹介】																
臨床検査技師として日本海総合病院や鶴岡市立荘内病院にて約 8 年間勤務経験（病理診断科での実務経験）あり。 鶴岡市民スポーツクラブ「レッツ器械体操」にて約 7 年間指導員の経験あり。																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年 後期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
基礎専門	病理学実習	堀江・山木	なし	1 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
病理組織標本を作成するための基本的技術を習得することを目的とする。						
【講義概要】						
本実習は、病理組織標本観察に不可欠な臓器切り出し・固定・脱水・包埋・薄切・H E 染色・封入の過程を理解するため、各自一連の過程を行い、作成した標本を提出する。併せて病理組織細胞学実習用の染色液を作成し、染色した標本をスケッチする。						
【教科書・参考文献】						
新編臨床検査講座 病理組織細胞学（医歯薬出版） 組織アトラス - 正常と病変 -（医歯薬出版）						
回	授業計画及び学習の内容					
1	ブロック作成（切り出し・脱水・包埋・ブロック台装着）					
2	薄切実習					
3	病理組織細胞学実習標本スケッチ（masson）					
4	病理組織細胞学実習標本スケッチ（EVG）					
5	病理組織細胞学実習標本スケッチ（鍍銀）					
6	病理組織細胞学実習標本スケッチ（PAM）					
7	病理組織細胞学実習標本スケッチ（PAS・アルシアン青）					
8	病理組織細胞学実習標本スケッチ（真菌）					
9						
10						
11						
12						
【成績評価方法】						
	評価項目	標本課題	小テスト	スケッチ	平常点	その他(出席点)
	100%	50%	%	40%	10%	5 点加算
【教員紹介】						
臨床検査技師免許取得後 4 3 年間、臨床検査技師教育に携わる。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年・前期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門基礎	公衆衛生学	北山 茂	あり	2 単位・30 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
保健・医療・福祉の制度を学修し、地域社会の健康を予防医学、環境の改善、健康教育の推進を通して現代の公衆衛生を理解することを目標とする。																
【講義概要】																
健康に悪影響を及ぼす環境や行動、社会的要因を取り除き、健康障害を予防することを学修する。さらに、行政や企業などの組織を通して予防や社会復帰を重視し、人々の健康状態と QOL の向上についても修得する。																
【教科書・参考文献】																
<ul style="list-style-type: none"> 最新臨床検査学講座 公衆衛生学 2023 年版（医歯薬出版） 国民衛生の動向（厚生統計協会） 																
回	授業計画及び学習の内容															
1	公衆衛生の意義 ・ 公衆衛生活動 ・ 健康の概念 ・ 予防医学の概念															
2	衛生行政 ・ 衛生行政 ・ 医療制度 ・ 社会保障, 社会福祉国際保健															
3	国際保健 ・ 世界保健機関 ・ プライマリヘルスケア ・ ヘルスプロモーション ・ S D G s															
4	衛生統計 ・ 人口生態統計 ・ 人口動態統計 ・ 疾病統計 ・ 障害統計															
5	疫学 ・ 疫学と予防医学 ・ 疫学指標 ・ 疫学研究方法 ・ スクリーニング															
6	母子保健・学校保健 ・ 母の健康 ・ 新生児, 乳児, 小児の健康 ・ 保健管理 ・ 学校における感染症															
7	成人保健 ・ 生活習慣病の予防 ・ がん ・ 心疾患 ・ 脳血管疾患 ・ 糖尿病															
8	試験及び解説															
9	高齢者保健 ・ 老人保健法 ・ 介護保険法 ・ 高齢者医療確保法 ・ 認知症問題 ・ 在宅医療															
10	精神保健 ・ 主な精神, 神経疾患 ・ 精神保健福祉法 ・ アルコール中毒 ・ 自殺															
11	環境と健康 ・ 屋内環境 ・ 環境リスクの評価 ・ 環境汚染 ・ 公害															
12	感染症 ・ 感染の成立要因 ・ 新興感染症, 再興感染症, 検疫感染症 ・ 感染予防 ・ 予防接種															
13	産業保健 ・ 労働災害と業務上疾病 ・ 労働衛生管理 ・ 一般健康診断, 特殊健康診断															
14	食品衛生 ・ 栄養と健康 ・ 食品衛生行政 ・ 食中毒 ・ 食品添加物															
15	試験及び解説															
【成績評価方法】																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他(提出物)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>90 %</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>10%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(提出物)	100%	90 %	%	%	10%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(提出物)											
100%	90 %	%	%	10%	%											
【教員紹介】																
東京女子医科大学病院で臨床検査技師として6年間勤務経験有り。																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年 後期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
専門基礎	医療福祉概論	須崎 由美	なし	1 単位・15 時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
保健・医療・福祉の概念・制度について理解し、患者を取り巻く一スタッフとしてどのように患者に向き合うべきなのかを考えられる力を身につけることを目標とする。							
【講義概要】							
人々の心身の健康を身体的、精神的、社会的側面で総合的にどのように捉え、患者の抱える苦痛を理解し個別に対応できるよう、様々な事例、シミュレーションを取り入れながら患者の心理について学ぶ。							
【教科書・参考文献】							
最新臨床検査学講座 保健医療福祉概論（医歯薬出版） その他資料							
回	授業計画及び学習内容						
1	医療制度について						
2	医療従事者としての心構え						
3	患者の心理①（がん患者の体験）						
4	グループワーク①（メンタルヘルスの向上）						
5	ターミナルケアについて						
6	患者の心理②（V・E・フランクフル、キューブラー・ロス）						
7	グループワーク②（終末期患者の希死念慮への対応）						
8	発表もしくは個別にて課題提出						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
		評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（内容記載）
		100%	80%	%	%	20%	%
【教員紹介】							
アロカ（株）にて MEG・ラジオ波焼灼術の営業技術として勤務。半年間病院勤務の経験あり。							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年・後期	
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門	臨床検査医学 I	塚田敦子	あり	2 単位・30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
<p>疾患の診断と治療には様々な検査が必要である。検査技師は担当する検査の目的・意義を理解し、データの解釈について十分な知識が要求される。検査方法の原理や詳細に関しては各専門教科の知識が必要であり、対応する教科の復習を促す。講義の区切りで、それぞれのテーマの国家試験過去問題を提供し、Key Point を確認する。</p>				
【講義概要】				
<p>授業では特に検査技師が理解しておくべき疾患について、原因・病態・症状ならびに関連する検査所見を学習し、診断基準や類似疾患との鑑別についても理解を深める。</p>				
【教科書・参考文献】				
<p>【教科書】 イラストで病気を理解するビジュアルノート (MEDIC MEDIA) 【参考書】 臨床検査講座 臨床医学総論/臨床検査医学総論 (医歯薬出版)、病気がみえる。(シリーズ①～⑨) (MEDIC MEDIA)、ゼロからわかる疾患別検査値読みこなし (成美堂出版)</p>				
回	授業計画及び学習内容			
1	診断と臨床検査の意義			
2	循環器疾患①			
3	循環器疾患②			
4	循環器疾患③			
5	呼吸器疾患①			
6	呼吸器疾患②			
7	消化器疾患①			
8	消化器疾患②			
9	肝・胆道疾患①			
10	肝・胆道疾患②			
11	感染症①			
12	感染症②			
13	腎疾患①			
14	腎疾患②			
15	電解質・酸塩基平衡			

【成績評価方法】

定期考査は実施しない。 関連したテーマ毎に小テストを実施し総合評価する。

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(内容記載)
100%	%	100%	%	%	%

【教員紹介】

臨床検査技師として、虎の門病院臨床化学検査部で7年間、ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社で3年間の実務経験を有する。

東京電子専門学校 臨床検査学科

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年・後期	
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門	臨床検査医学Ⅱ	塚田敦子	あり	2 単位・30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
<p>疾患の診断と治療には様々な検査が必要である。検査技師は担当する検査の目的・意義を理解し、データの解釈について十分な知識が要求される。検査方法の原理や詳細に関しては各専門教科の知識が必要であり、対応する教科の復習を促す。講義の区切りで、それぞれのテーマの国家試験過去問題を提供し、Key Point を確認する。</p>				
【講義概要】				
<p>授業では特に検査技師が理解しておくべき疾患について、原因・病態・症状ならびに関連する検査所見を学習し、診断基準や類似疾患との鑑別についても理解を深める。</p>				
【教科書・参考文献】				
<p>【教科書】 イラストで病気を理解するビジュアルノート (MEDIC MEDIA) 【参考書】 臨床検査講座 臨床医学総論/臨床検査医学総論 (医歯薬出版)、病気がみえる。(シリーズ①～⑨) (MEDIC MEDIA)、ゼロからわかる疾患別検査値読みこなし (成美堂出版)</p>				
回	授業計画及び学習内容			
1	内分泌疾患①			
2	内分泌疾患②			
3	代謝異常①			
4	代謝異常②			
5	腫瘍マーカー・緊急時の対応			
6	遺伝病・中毒症			
7	脳・神経・筋肉疾患①			
8	脳・神経・筋肉疾患②			
9	免疫病①			
10	免疫病②			
11	免疫病③			
12	血液疾患①			
13	血液疾患②			
14	血液疾患③			
15	最終テスト			

【成績評価方法】

定期考査は実施しない。 関連したテーマ毎に小テストを実施し総合評価する。

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(内容記載)
100%	%	100%	%	%	%

【教員紹介】

臨床検査技師として、虎の門病院臨床化学検査部で7年間、ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社で3年間の実務経験を有する。

東京電子専門学校 臨床検査学科

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象														
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 学年 前期														
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数													
専門	臨床血液検査学	堀江 巧	なし	2 単位・30 時間													
【授業の到達目標及びテーマ】																	
一年次にて学習した血液学を基として、赤血球系・白血球系・血小板系・凝固線溶系に関連した各種疾患について、原因や症状・治療法などを説明し、検査との関連についても理解する。																	
【講義概要】																	
血液検査は、貧血・白血病・血友病をはじめとする血液疾患の診断・治療・予後の判定にきわめて重要であるため、それに伴う病気の知識と検査の意義を理解させる。																	
【教科書・参考文献】																	
最新血液検査学（臨床検査学講座） 医歯薬出版 奈良 信雄 病気が見える（血液） メディックメディア 土屋 達行																	
回	授業計画及び学習の内容																
1	赤血球系疾患（基準値・形態異常・封入体）																
2	赤血球系疾患（貧血の大別・小球性貧血）																
3	赤血球系疾患（小球性貧血）																
4	赤血球系疾患（正球形貧血）																
5	赤血球系疾患（大球形貧血・赤血球増加症）																
6	白血球系疾患（基準値・形態異常・封入体）																
7	白血球系疾患（増加・減少・機能異常）																
	試験																
8	白血球系疾患（急性白血病）																
9	白血球系疾患（慢性白血病・悪性リンパ腫）																
10	白血球系疾患（MDS・多発性骨髄腫・M 蛋白血症）																
11	血管系・血小板系疾患（アレルギー性紫斑病・増加/減少症・機能異常）																
12	血小板系疾患（TTP・HUS・ITP）																
13	凝固系疾患（VtK 欠乏症・凝固因子欠乏症・循環抗凝血素）																
14	凝固系疾患（血友病・フォン ウィルブランド病）																
15	線溶系疾患（一次線溶異常・DIC）																
	試験																
【成績評価方法】																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価項目</th> <th style="width: 30%;">試験・課題</th> <th style="width: 10%;">小テスト</th> <th style="width: 10%;">レポート</th> <th style="width: 10%;">平常点</th> <th style="width: 30%;">その他（出席点）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">試験 2 回平均 100%</td> <td style="text-align: center;">0%</td> <td style="text-align: center;">0%</td> <td style="text-align: center;">0%</td> <td style="text-align: center;">最大 5 点加算</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	100%	試験 2 回平均 100%	0%	0%	0%	最大 5 点加算
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）												
100%	試験 2 回平均 100%	0%	0%	0%	最大 5 点加算												
【教員紹介】																	
臨床検査技師免許取得後 4 3 年間、臨床検査技師教育に携わる。																	

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年 前期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	臨床血液検査学実習	堀江・大田和	あり	1 単位・30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
採血手技を習得し、学生自身の検体やコントロール血漿などを用いて赤血球系・白血球系・血小板・凝固・線溶系に大別し、実習を行う。教科書に書かれた実習内容を中心として、必要な資料を配布し動画使って実習の流れを理解させる。項目ごとにテーマをもうけ、個人やグループで実習を行う。						
【講義概要】						
資料を配布して実習に必要な内容を説明し、動画による手技を見せて実習を行う。全項目実習終了後の筆記試験やスライド試験また未知検体を使って判定する。最後に実習ノートを提出させ評価する。(1回2コマ)						
【教科書・参考文献】						
臨床検査学講座血液検査学(医歯薬出版) 血液細胞ノート(文光堂)						
回	授業計画及び学習の内容					
1	貧血検査(Ht/Hb)					
2	血球数算定(RBC/WBC)					
3	赤沈/赤血球抵抗試験					
4	血液塗抹・普通染色					
5	特殊染色(POD・Es)・異常血球観察					
6	一次止血(血小板数算定・血小板停滞能検査)・異常血球観察					
	一次試験Ⅱ(出血時間・毛細血管抵抗試験)					
	凝固検査Ⅰ(Ca 再加試験・APTT)					
8	凝固検査Ⅱ(PT・フィブリノゲン量) 線溶系検査(血漿溶解時間・SFMC)					
予備	正常白血球分画					
予備	異常白血球分画					
	スライド講義					
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	スライド	ノート	平常点	その他(実技)
【教員紹介】	100%	50%	10%	30%	5点加算	10%
堀江：臨床検査技師免許取得後、44年間病理検査や血液検査などの教育に携わっている。						
大田和：自衛隊中央病院及び市ヶ谷共済組合診療所において、臨床検査技師として化学検査及び微生物学検査に従事していた。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023年度	2年 前期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	病理組織細胞学	広井 禎之	あり	2単位 30時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
細胞診断学について講義を行い、細胞診断は顕微鏡実習も行う。病理学は広範囲にわたる知識が必要なため、解剖学、組織学、生理学を加味しながら、病理学とのつながりが理解出来るように指導する。						
【講義概要】						
細胞診断を行うための基礎となる各種異常細胞の特徴、特に腫瘍細胞について教授し、診断に必要な標本作製技術を併せて習得する。						
【教科書・参考文献】						
臨床検査講座 病理組織細胞学（医歯薬出版） 組織アトラス（医歯薬出版）						
回	授業計画及び学習の内容					
1	細胞診断学（細胞診とは）					
2	細胞診断学総論（腫瘍病理学・関係法規）					
3	細胞診断学各論（婦人科系）					
4	細胞診断学各論（呼吸器系）					
5	細胞診断学各論（体腔液その他）					
6	細胞診断学実習（喀痰）					
7	細胞診断学実習（婦人科その他）					
8	細胞診染色実習（パパニコロウ染色）					
9	試験					
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席点)
	100%	80%	%	20%	%	加算5点
【教員紹介】						
防衛庁防衛医科大学校病理学第一講座にて研究技術員や教員助手として24年・新渡戸文化短期大学臨床検査学科教授で3年・現在順天堂大学医療科学部教授を務める。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年生 前期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門	臨床化学 I	大田和	あり	2 単位 30 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
電解質、糖質、脂質、タンパク質などの歴史的背景、体内代謝と臨床的意義測定原理について、および分析機器の取り扱い、精度管理について習得する。																
【講義概要】																
臨床化学は疾患の診断、治療方針の決定または予後の判定など臨床目的に応じた生体情報提供する学問および技術であり、分析化学、機器分析学、病態生化学、臨床医学を背景に進歩した学問である。																
【教科書・参考文献】																
臨床検査学講座 臨床化学検査学 浦山 修 他 医歯薬出版																
回	授業計画及び学習の内容															
1	プロローグ（授業の進め方、注意事項、成績評価法） 生命のメカニズム															
2	生物化学分析の原理と方法（分光光度分析法／蛍光分析法／化学発生分析法）															
3	生物化学分析の原理と方法（クロマトグラフ法／電気泳動法／質量分析法）															
4	生物化学分析の原理と方法（免疫化学的分析法／電気化学分析法）															
5	生物化学分析の原理と方法（酵素的分析法／自動分析法／POCT）															
6	無機質（水と無機質の調整および代謝）															
7	無機質（無機質の検査）															
8	中間試験及び解説															
9	糖質（糖質の構造と機能／糖質の代謝）															
10	糖質（糖質の検査）															
11	脂質（脂質の構造と機能／脂質の代謝）															
12	脂質（脂質の検査）															
13	タンパク質（アミノ酸とタンパク質の構造と機能／アミノ酸とタンパク質の代謝）															
14	タンパク質（タンパク質の検査）															
15	まとめ・期末試験															
【成績評価方法】																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 12.5%;">評価項目</th> <th style="width: 12.5%;">試験・課題</th> <th style="width: 12.5%;">小テスト</th> <th style="width: 12.5%;">レポート</th> <th style="width: 12.5%;">平常点</th> <th style="width: 12.5%;">その他（ 出席率 ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>60%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>10%</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ 出席率 ）	100%	60%	20%	0%	10%	10%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ 出席率 ）											
100%	60%	20%	0%	10%	10%											
【教員紹介】 自衛隊中央病院及び市ヶ谷共済組合診療所において、化学検査及び微生物学検査の臨床検査技師としての勤務歴あり。																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年生 後期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	臨床化学 II	大田和	あり	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
非タンパク性窒素、生体色素、酵素などの歴史的背景、体内代謝と臨床的意義測定原理について、および分析機器の取り扱い、精度管理について習得する。						
【講義概要】						
臨床化学は疾患の診断、治療方針の決定または予後の判定など臨床目的に応じた生体情報提供する学問および技術であり、分析化学、機器分析学、病態生化学、臨床医学を背景に進歩した学問である。						
【教科書・参考文献】						
臨床検査学講座 臨床化学検査学 浦山 修 他 医歯薬出版						
回	授業計画及び学習の内容					
1	非タンパク性窒素（生体内の非タンパク性窒素成分の生成、生体内の非タンパク性窒素成分の代謝）					
2	非タンパク性窒素（非タンパク性窒素成分の検査）					
3	生体色素（ヘム／生体色素の検査）					
4	酵素（酵素の基礎）					
5	酵素（酵素活性の測定）					
6	酵素（酵素の検査）					
7	酵素（酵素の検査）					
8	中間試験及び解説					
9	薬物・毒物（検査目的／生体内の薬物動態／血中薬物測定法／毒物・劇物の分析）					
10	ホルモン（ホルモンの種類と性質／ホルモンの作用と調節機序／内分泌臓器と内分泌検査）					
11	ビタミン（ビタミンの種類と性質／ビタミンの作用と分類）					
12	疾患マーカー（肺／感染症／心疾患／腎疾患）					
13	骨代謝マーカー）					
14	その他の検査（肝胆道機能検査／腎機能検査／膵機能検査／内分泌機能検査／消化管機能検査）					
15	まとめ・期末試験					
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ 出席率 ）
	100%	60%	20%	0%	10%	10%
【教員紹介】 自衛隊中央病院及び市ヶ谷共済組合診療所において、化学検査及び微生物学検査の臨床検査技師としての勤務歴あり。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年・後期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門	遺伝子染色体検査学	塚田、関澤	あり	2 単位・30 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
遺伝子の多型が体質と関連性をもつことや、遺伝子の異常が様々な疾患の原因となっていることを知り、それらを捉える遺伝子・染色体検査法の基礎を修得する。																
【講義概要】																
遺伝子および染色体に関連する基礎知識を講義で学んだ後、遺伝子検査と染色体検査の実習を実施する。																
【教科書・参考文献】																
【教科書】 「最新臨床検査講座 遺伝子・染色体検査学」東田修二 編著（医歯薬出版）																
【参考書】 「ポケットマスター臨床検査知識の整理 遺伝子・染色体検査学」大島利夫・藤田和博 編（医歯薬出版）																
回	授業計画及び学習の内容			担当教員												
1	概論			10/3												
2	遺伝子の基礎知識(1)			10/10												
3	遺伝子の基礎知識(2)			10/17												
4	遺伝子異常と疾患			10/24												
5	遺伝子の検査法(1)			11/7												
6	遺伝子の検査法(2)			11/14												
7	中間試験および解説			11/21												
8	染色体の基礎知識(1)			11/28												
9	染色体の基礎知識(2)			12/5												
10	染色体異常と疾患(1)			12/12												
11	染色体異常と疾患(2)			12/19												
12	染色体の検査			1/9												
13	期末試験および解説			1/16												
14	染色体検査実習 ※CPU 使用			2/13												
15																
【成績評価方法】																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価項目</th> <th style="width: 15%;">試験・課題</th> <th style="width: 15%;">小テスト</th> <th style="width: 15%;">レポート</th> <th style="width: 15%;">平常点</th> <th style="width: 20%;">その他()</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">70%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">20%</td> <td style="text-align: center;">10%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	100%	70%	%	20%	10%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()											
100%	70%	%	20%	10%	%											
【教員紹介】																
塚田敏彦：虎の門病院臨床検査部室長、稲田登戸病院臨床検査科技師長として 30 年の実務経験あり。																
関澤浩一：日赤医療センター染色体検査室での実務経験あり。臨床細胞遺伝学認定士。																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年・前期	
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門	輸血移植検査学	新井 智子	あり	3 単位・45 時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
<p>輸血検査は、その結果が人命に直結する重要な検査であり、十分な知識と技術を備えることが必要となる。本講義では、移植医療に必要な不可欠な基礎知識を修得したうえで、輸血検査の手順と手技・判定方法について理解することを目標とする。</p>				
【講義概要】				
<p>図表を多用した教員作成の講義テキストを使用し、質疑応答を取り入れた双方向授業を実施する。テキストには空欄が設けてあり、講義に合わせ、空欄を埋めてテキストを完成させながら受講する形式で行う。</p>				
【教科書・参考文献】				
<p>【教科書】「最新臨床検査学講座 免疫検査学」窪田 哲郎 著（医歯薬出版）</p> <p>【参考書】「標準臨床検査学 免疫検査学」折笠 道昭 著（医学書院）</p>				
回	授業計画及び学習内容			
1	4/13	輸血療法、献血の種類、献血血液に行う検査、血液製剤の種類、安全性対策		
2	4/20	全血献血、細胞保存液、輸血用血液製剤の種類と保管、血液製剤の準備・使用指針		
3	4/27	ABO 血液型(1)		
4	5/11	ABO 血液型(2)		
5	5/18	その他の糖鎖抗原系血液型、Rh 血液型(1)		
6	5/25	Rh 血液型(2)、その他の血液型		
7	6/1	量的効果、ABO 血液型検査(1)		
8	6/8	ABO 血液型検査(2)		
9	6/15	RhD 血液型検査、不規則抗体検査		
10				
11	6/22	まとめ、中間試験		
12				
13	6/29	交差適合試験、クームス試験、新生児溶血性疾患		
14				
15	7/6	抗体の吸着・解離、自己免疫性溶血性貧血、輸血副作用(1)		
16				
17	7/13	輸血副作用(2)、自己血輸血 ※静脈路への成分採血装置の接続・操作を含む		
18				
19	9/7	白血球の血液型、血小板の血液型		
20				
21	9/14	臓器移植、造血幹細胞移植		
22				

23	9/21	まとめ、期末試験				
【成績評価方法】	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)
	100%	約85%	%	%	%	約15%
【教員紹介】						
虎の門病院で臨床検査技師として13年間検体検査業務に携わり、免疫アッセイ検査の実務経験を有する。						

東京電子専門学校 臨床検査学科

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年・後期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
専門	輸血検査学実習	新井・塚田	あり	1 単位・30 時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
輸血検査法の手順や判定法を修得すること、得られた結果を客観的に捉えて的確に記載する能力および科学的な思考能力を修得することを目標とする。							
【講義概要】							
講義科目で学んだ輸血に関する種々の検査法について、ヒト由来試料を用いて実践し、的確な結果判定を行う力を身に着ける。(1 回 2 コマ)							
【教科書・参考文献】							
【教科書】「臨床検査学講座 免疫検査学」窪田 哲郎 著 (医歯薬出版)							
【参考書】「輸血・移植検査 技術教本」一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 監修 (丸善出版)							
回	授業計画及び学習内容						
1	11/22	赤血球浮遊液の作成 ABO 血液型判定 (スライド法・試験管法)					
2	11/29	熱解離試験 RhD 血液型検査					
3	12/6	実習結果検討会①					
4	12/13	不規則抗体スクリーニング					
5	1/10	不規則抗体同定検査					
6	1/17	交差適合試験					
7	1/24	実習結果検討会③					
8	1/31	まとめ、実習試験					
【成績評価方法】							
		評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)
		100%	約 30%	%	約 60%	%	約 10%
【教員紹介】							
病院の臨床検査部で 13 年間検体検査業務に携わり、免疫アッセイ検査の実務経験を有する。							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 学年 前期	
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門	臨床微生物検査学実習	大田和 伸裕	あり	2 単位 60 時間
【授業の到達目標及びテーマ】				
<p>病因・生体防御検査学（臨床微生物学）感染症の起因となる主な微生物の性状、感染症の診断・予防・治療に関する検査法とその技術および結果の意義・評価方法について理解を深める。</p>				
【講義概要】				
<p>各種培地への接種方法および正しく取り扱うための基本的手技（無菌操作）の習得および各種培地、検査からの同定、染色法（グラム染色・特殊染色）について学ぶ。</p>				
【教科書・参考文献】				
臨床検査学講座 臨床微生物学／図解臨床細菌検査				
回	授業計画及び学習の内容			
1	ガイダンス（微生物検査学実習をするにあたって）、無菌操作、感染予防			
2	（A）分離培養：通性嫌気性グラム陽性球菌			
3	（A）同定検査：通性嫌気性グラム陽性球菌			
4	（B）分離培養：腸内細菌科			
5	（B）同定検査：腸内細菌科			
6	（C）分離培養：ビブリオ属			
7	（C）同定検査：ビブリオ属			
8	（D）分離培養：ヘモフィルス属			
9	（D）同定検査：ヘモフィルス属			
10	（E）分離培養：ブドウ糖非発酵菌群、モラクセラ			
11	（E）同定検査：ブドウ糖非発酵菌群、モラクセラ			
12	（F）分離培養：嫌気性菌			
13	（F）同定検査：嫌気性菌			
14	（G）薬剤感受性検査（ディスク拡散法、E テスト、 β ラクタマーゼ試験）			
15	（G）薬剤感受性検査判定			
16	試験			
【成績評価方法】 実習修了試験（筆記）、レポート、実習態度、出欠、小試験の総合評価				
【教員紹介】 自衛隊中央病院及び市ヶ谷共済組合診療所において、化学検査及び微生物学検査の臨床検査技師としての勤務歴あり。				

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年・前期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
専門	臨床免疫検査学	新井 智子	あり	2 単位・30 時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
臨床免疫学で学んだ知識を基礎として、疾患毎にその検査に使用される免疫反応について、原理と特徴および検査法を理解する。							
【講義概要】							
図表を多用した教員作成の講義テキストを使用し、質疑応答を取り入れた双方向授業を実施する。 テキストには空欄が設けてあり、講義に合わせ、空欄を埋めてテキストを完成させながら受講する形式で行う。							
【教科書・参考文献】							
【教科書】「最新臨床検査学講座 免疫検査学」窪田 哲郎 著（医歯薬出版）							
【参考書】「病気がみえる 免疫・膠原病・感染症」医療情報科学研究所 編（メディックメディア）							
回	授業計画及び学習内容						
1	免疫電気泳動、M 蛋白				4/10		
2	免疫電気泳動の判定、免疫固定電気泳動				4/17		
3	温度依存性蛋白、腫瘍マーカー、基準範囲とカットオフ値				4/24		
4	臓器特異的自己免疫疾患				5/1		
5	全身性自己免疫疾患(1)				5/8		
6	全身性自己免疫疾患(2)、抗核抗体検査				5/15		
7	アレルギーとその検査				5/22		
8	まとめ、中間試験				5/29		
9	真菌感染症とその検査、細菌感染症とその検査(1)				6/5		
10	細菌感染症とその検査(2)				6/12		
11	ウイルス感染症とその検査(1)				6/19		
12	ウイルス感染症とその検査(2)				6/26		
13	ウイルス感染症とその検査(3)、ウイルス抗体検査法の種類と特徴				7/3		
14	免疫不全症とその検査(1)				7/10		
15	免疫不全症とその検査(2)、急性期反応性蛋白質				9/4		
16	まとめ、期末試験				9/11		
【成績評価方法】							
		評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)
		100%	約 85%	%	%	%	約 15%
【教員紹介】							
虎の門病院で臨床検査技師として 13 年間検体検査業務に携わり、イムノアッセイ検査の実務経験を有する。							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 度	2 年・後期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	臨床化学・臨床免疫学実習	塚田・新井	あり	1 単位・45 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
実習レポートの作成を通して、実習で得られた結果を客観的に捉えて的確に記載する能力、その記載を基に科学的な解析と評価を行う能力を修得することを目標とする。						
【講義概要】						
「臨床化学」「臨床免疫検査学」で学んだ種々の検査法について、ヒト由来試料を用いて実践することで、実施方法や実施上の重要事項を理解し、各検査法の原理と特徴・実施方法・判定方法を修得する。(1 回 2 コマ)						
【教科書・参考文献】						
【教科書】 「最新臨床検査学講座 臨床化学検査学」浦山 修 編 「最新臨床検査学講座 免疫検査学」窪田 哲郎 編 (医歯薬出版)						
回	授業計画及び学習内容					
1	10/2	グルコース測定、添加回収試験、持続皮下グルコース測定装置				
2	10/16	アルブミン・カルシウム測定、Ca Index 算出				
3	10/23	実習結果検討会				
4	11/6	総コレステロール・HDL-コレステロール・トリグリセライド測定、LDL-コレステロール算出				
5	11/13	LDH アイソザイム				
6	11/20	実習結果検討会				
7	11/27	遺伝子検査(1)				
8	12/4	遺伝子検査(2)				
9	12/11	実習結果検討会・臨床化学実習試験				
1	10/4	平板内二重免疫拡散法 (Ouchterlony 法)、免疫電気泳動				
2	10/11	実習結果検討会				
3	10/18	ELISA 法による腫瘍マーカーの測定				
4	10/25	梅毒血清反応 (RPR 法・TPPA 法) 法、イムノクロマトグラフィ法による HBs 抗体検査				
5	11/1	実習結果検討会				
6	11/8	臨床免疫学実習試験				
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)
	100%	約 30%	%	約 60%	%	約 10%
【教員紹介】						
塚田敏彦：虎の門病院臨床検査部室長、稲田登戸病院臨床検査科技師長として 30 年の実務経験あり。						
新井智子：虎の門病院で臨床検査技師として 13 年間検体検査業務に携わり、イムノアッセイ検査の実務経験を有する。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年・前期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	生理機能検査学Ⅲ	阿部 俊介	あり	2 単位・30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
既に習得した心電図の知識を掘り下げていき、緊急対応の必要性についても判断できるようにする。また、その他循環器領域の生理機能検査、特に臨床的に重要な心臓超音波検査の知識習得を目標とする。						
【講義概要】						
前半では心電図の復習及び応用的な異常波形、その他の心電図検査（運動負荷心電図・ホルター心電図等）について学び、後半では心臓超音波検査を中心としたその他の循環器検査（動脈硬化検査等）について学習する。						
【教科書・参考文献】						
大島一太，これならわかる！心電図の読み方，ナツメ社 東條 尚 他，最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版，医歯薬出版						
回	授業計画及び学習内容					
1	心電図復習①					
2	心電図復習②・緊急対応を要する心電図について					
3	心電図各論 異常波形①					
4	心電図各論 異常波形②					
5	心電図各論 異常波形③					
6	心電図各論 異常波形④					
7	心電図各論 異常波形⑤					
8	その他心電図検査（運動負荷心電図・ホルター心電図・モニター心電図）					
9	まとめ・中間試験					
10	心臓超音波 基礎①					
11	心臓超音波 基礎②					
12	心臓超音波 臨床①					
13	心臓超音波 臨床②					
14	その他循環器検査（心音図検査）					
15	その他循環器検査（動脈硬化検査・血管内皮機能検査）					
16	期末試験					
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（内容記載）
	100%	100 %	%	%	%	授業態度不良者は減点
【教員紹介】						
臨床検査技師として浴風会病院で主に心電図検査・心臓超音波検査などの循環器系検査に従事していた。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年・前期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	生理機能検査学Ⅳ	荒井 健一	あり	2 単位・30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
画像検査（造影超音波検査も含む）・感覚機能検査に係る仕組みについて理解し、検査の理論と実際を修得し結果の解析と評価について学修する。また、検査の緊急対応についても学ぶ。						
【講義概要】						
総論では、検査対象臓器の生理解剖学の復習を行う。各論では、各検査の画像の成り立ちを学び、検査手技・禁忌事項・アーチファクト・各症例の所見・診断を学ぶ。						
【教科書・参考文献】						
最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第2版 東條 尚 他 医歯薬出版						
回	授業計画及び学習内容					
1	超音波検査の基礎①（原理・装置の構成・プローブの仕組み測定法・表示方法・安全管理）					
2	超音波検査の基礎②（パルスドプラ・連続波ドプラ・カラードプラ・エラストグラフィ・アーチファクト）					
3	腹部・脈管・体表臓器の解剖生理及び超音波検査の基礎（意義・前処置・基本走査法）について					
4	腹部超音波検査①（肝臓の正常及び疾患像）					
5	腹部超音波検査②（胆嚢の正常及び疾患像・膵臓の正常及び疾患像・脾臓疾患像）					
6	腹部超音波検査③（腎泌尿器正常及び疾患像・消化管正常及び疾患像・骨盤腔の正常及び疾患像）					
7	体表超音波検査（甲状腺の正常及び疾患像・血管の正常及び疾患像・乳腺の正常及び疾患像）					
8	中間試験及び解説					
9	造影超音波検査①（適応と禁忌・使用薬剤・緊急対応・注入方法）					
10	造影超音波検査②（操作手技・実症例）					
11	磁気共鳴検査（原理・装置の構成・検査法・造影剤・禁忌事項）					
12	磁気共鳴検査（脳・脊髄・脊椎・腹部・骨盤の正常及び疾患像）/熱画像検査（原理・装置の構成）					
13	眼底・聴覚・味覚・嗅覚の解剖生理学について					
14	眼底検査（検査法・正常眼底・眼底疾患）/聴覚機能検査（標準純音聴力検査・語音聴力検査）					
15	味覚検査（電気味覚検査・濾紙ディスク法）/嗅覚検査（基準嗅力検査）					
16	期末試験					
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他
	100%	70%	20%	%	10%	
【教員紹介】						
臨床検査技師として亀田総合病院で約8年間、健診や超音波検査（腹部・脈管・体表・造影）に従事していた。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 学年・後期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門	生理機能検査学実習	荒井/阿部	あり	2 単位・60 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
生理機能検査学で学んだ知識をより確かなものとし、生理機能検査学（実習）を学ぶ上での助けとなることを目標とする。																
【講義概要】																
実習は実技を重視して、臨床検査技師が日常行う検査を重点に置いて行う。できるだけ多くの生理検査機器を使用し、生体現象を測定するための基本を学ぶ。																
【教科書・参考文献】																
生理機能検査学・講義資料																
回	授業計画及び学習の内容															
1	ガイダンス															
2	心電図検査・血圧・ABI に関する実習 1															
3	心電図検査・血圧・ABI に関する実習 2															
4	心電図検査・血圧・ABI に関する実習 3															
5	呼吸機能検査・パルスオキシメーターに関する実習 1															
6	呼吸機能検査・パルスオキシメーターに関する実習 2															
7	呼吸機能検査・パルスオキシメーターに関する実習 3															
8	脳波検査に関する実習 1															
9	脳波検査に関する実習 2															
10	超音波検査に関する実習 1															
11	超音波検査に関する実習 2															
12	超音波検査に関する実習 3															
13	超音波検査に関する実習 4															
14	超音波検査に関する実習 5															
15	超音波検査に関する実習 6															
【成績評価方法】																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他()</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%</td> <td>30%</td> <td>%</td> <td>50%</td> <td>20%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	%	30%	%	50%	20%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()											
%	30%	%	50%	20%	%											
【教員紹介】																
<p>(荒井) 亀田総合病院で検診業務および超音波検査技師として勤務経験有り。</p> <p>(阿部) 臨床検査技師として浴風会病院で主に心電図検査・心臓超音波検査などの循環器系検査に従事していた。</p>																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年・前期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	予防医学総論	塚田敏彦	あり	1 単位・15 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
<p>予防医学にはどのようなものがあるかを知り、予防医学の重要性を理解する。 ヒトを取り巻く自然や社会環境因子と健康との関連性を探求できる基盤を養う。</p>						
【講義概要】						
<p>近年注目度が高まっている予防医学の様々な分野について、最新のエビデンスをふまえ、科学のおよび医療経済の視点から講義する。動画および PowerPoint を用いる。</p>						
【教科書・参考文献】						
プリント配布						
回	授業計画及び学習内容					
1	環境因子と健康との関連・経済効果			4/13 (木) 1 限		
2	疾病の予防・早期発見			4/20 (木) 1 限		
3	0 次予防			4/27 (木) 1 限		
4	1 次・2 次・3 次予防			5/11 (木) 1 限		
5	代替医療			5/18 (木) 1 限		
6	予防医学とサプリメント			5/25 (木) 1 限		
7	アンチエイジング学会・未病学会におけるトピックス			6/01 (木) 1 限		
8	まとめ・期末試験 (公衆衛生も含む国家試験に準ずる問題)			6/08 (木) 1 限		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 (内容記載)
	100%	80%	%	%	20%	%
【教員紹介】						
<p>KKR 虎の門病院臨床検査部室長、その後 KKR 稲田登戸病院臨床検査科技師長(出向)として 30 年の実務経験あり。 冲中成人病研究所研究員、順天堂大学臨床病学教室協力研究員： 臨床検査技師・医学博士</p>						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象				
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年生 後期				
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数			
専門	関係法規	須崎 由美	なし	1 単位・ 15 時間			
【授業の到達目標及びテーマ】							
医療従事者はどんな法律に基づいて仕事をしているかを理解する。臨床検査技師法とはどんな法律か、医療過誤を防ぐにはどうしたらよいか考える力を身につける。							
【講義概要】							
法の概念、我が国の法の形式と種類など法の基礎知識、臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律を主にして、医療法をはじめ関連法規を修得する。							
【教科書・参考文献】							
臨床検査学講座 関係法規（2023 年版）							
回	授業計画及び学習内容						
1	法の概念・臨床検査技師と法律 臨床検査技師を取り巻く環境と法律のかかわり						
2	臨床検査技師等に関する法律① 総則						
3	臨床検査技師等に関する法律② 免許・試験						
4	臨床検査技師等に関する法律③ 業務等						
5	臨床検査技師等に関する法律④ 衛生検査所・他						
6	医事法規・その他の法規						
7	臨床検査と医療過誤						
8	試験						
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
		評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（内容記載）
		100%	80%	%	%	20%	%
【教員紹介】							
アロカ（株）にて MEG・ラジオ波焼灼術の営業技術として勤務。半年間病院勤務の経験あり。							

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年・後期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門	医療安全管理学	北山 茂	あり	2 単位・30 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
医療の質の向上と安全の確保は患者とその家族にとって最重要事項であり、医療機関が取り組むべき最優先課題である。感染管理及び医療安全と患者接遇に配慮して、現場で実施できる知識・技術を修得することを目標とする。																
【講義概要】																
患者とのかかわり方やチーム医療の一員としての役割を学修する。臨床検査技師の責任及び業務範囲を理解し、リスクマネジメントや感染対策、安全な検体採取の方法や検査手技を修得する。																
【教科書・参考文献】																
・最新臨床検査学講座 医療安全管理学（医歯薬出版） ・臨床検査技師のための医療安全管理教本（じほう）																
回	授業計画及び学習の内容															
1	患者接遇 1	・技師による検査説明・チーム医療への技師のかかわり														
2	患者接遇 2	・患者接遇・コミュニケーションスキル														
3	リスクマネジメント 1	・臨床検査と医療事故・インシデントレポート・アクシデントレポート														
4	リスクマネジメント 2	・患者取り違え・検体取り違え・患者・家族への対応														
5	感染対策 1	・感染対策の意義と考え方・感染対策の基本的概念														
6	感染対策 2	・手指衛生・个人防护具の使用法・標準予防策・感染経路別予防策														
7	感染対策 3	・ワクチン等による予防・アウトブレイク ・感染対策業務の組織化と実践・院内感染対策マニュアル														
8	採血関連手技	・採血（標準採血法）※静脈路確保・電解質輸液の注入を含む・患者への配慮														
9	検査手技	・静脈路への成分採血装置の接続と操作														
10		・超音波検査における静脈路からの造影剤注入 ・持続皮下グルコース測定 ・運動誘発電位検査、体性感覚誘発電位検査に係る電極装着、脱着 ・直腸肛門機能検査														
11	検体採取 1	・総論・検体採取の意義・注意事項・注意点・検体採取の意義と技術														
12	検体採取 2	・鼻腔（経鼻）、咽頭（経口）等からの検体採取・気管カニューレ内部からの喀痰吸引														
13	検体採取 3	・皮膚、肛門からの検体採取・消化管内視鏡検査に伴う検体採取														
14	検体採取 4	・鼻腔・咽頭等からの検体採取の実践・気管カニューレ内部からの喀痰吸引の実践														
15	試験及び解説															
【成績評価方法】																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（提出物）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>90 %</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>10%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（提出物）	100%	90 %	%	%	10%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（提出物）											
100%	90 %	%	%	10%	%											
【教員紹介】																
東京女子医科大学病院で臨床検査技師として6年間勤務経験有り。																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年生 後期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
講義	バイオ技術講座	大田和	あり	1 単位・15 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
バイオ技術の基礎である分子生物学、細胞生物学を講義すると共に、バイオ技術について解説して、中級バイオ技術者認定試験に合格できる知識を習得させる。						
【講義概要】						
生命科学は 21 世紀の医療システムのみならず、私たちの生活の質の向上や福祉などにも深く関与しつつある。この生命科学の発展を支えるのがバイオ技術である。遺伝子の実体と構造が明らかにされてわずか 60 年の間に、分子生物学という新たな学問分野ができると共に、分子生物学を応用した医薬品開発や病気の解明、診断、オーダーメイド医療など、分子生物学を基盤とするバイオ技術は大きな貢献を果たした。						
【教科書・参考文献】						
サイエンスビュー生物総合資料 長野敬 他 10 名 実教出版						
回	授業計画及び学習の内容					
1	ガイダンス					
2	分子生物学（細胞と遺伝・核酸・遺伝子、遺伝情報・タンパク質・生体防御）					
3	バイオテクノロジー総論（機器の取り扱い、バイオテクニカルターム、環境と安全性）					
4	遺伝子工学①（組換え DNA と遺伝子解析 その 1 核酸の構造～遺伝子クローニング）					
5	遺伝子工学②（組換え DNA と遺伝子解析 その 2 核酸の抽出～遺伝子産物の検出）					
6	遺伝子工学③（細胞工学）					
7	微生物学（種類と特徴・構造と機能・代謝、増殖・変異・利用）					
8	演習（全科目の模擬問題）					
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
【成績評価方法】	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(認定試験)
	100%	%	20%	%	20%	60%
【教員紹介】						
自衛隊中央病院及び市ヶ谷共済組合診療所において、化学検査及び微生物学検査の臨床検査技師としての勤務歴あり。						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	2 年・後期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門	国家試験準備講座	学科教員 他		2 単位・30 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
国家試験問題のレベルを知り、これまで学んできた臨床検査に関する基礎知識を、正答を導くプロセスに応用するための基礎力を身につける。																
【講義概要】																
各領域の担当教員が、過去の国家試験等を題材とし、問題毎に関連する基礎知識や正答を導く際の考え方やポイントを解説する。《中間試験》全教員分を統一試験として実施する。《期末試験》教員毎に実施する。																
【教科書・参考文献】																
【教科書】 「クエスチョン・バンク 臨床検査技師国家試験問題解説 2022」(メディック メディア)																
【参考書】 「臨床検査技師国家試験問題注釈 2022 年度版」(金原出版)																
回	授業計画及び学習の内容			担当教員												
全 2 回	臨床生理学(1)			荒井												
全 2 回	臨床生理学(2)			阿部												
全 2 回	臨床化学			大田和												
全 2 回	病理組織細胞学			山木												
全 2 回	臨床血液学			堀江												
全 2 回	臨床微生物学			須崎												
全 2 回	臨床免疫学、輸血移植検査学			新井												
全 2 回	臨床病態学、臨床検査医学			塚田												
17 回	期末試験			全教員												
【成績評価方法】																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他(提出物)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(提出物)	100%	100%	%	%	%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(提出物)											
100%	100%	%	%	%	%											
【教員紹介】																
新井智子・堀江巧・大田和伸裕・山木久美・須崎由美・荒井健一・阿部俊介																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	3 年・後期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	法医学	松山 永久	あり	1 単位・15 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
法医学の定義や死体現象について学び、法医学の基礎を修得することを目標とする。						
【講義概要】						
死体現象の見方、死因の決定、病死や外因死の推定、個人の識別について学ぶ。						
【教科書・参考文献】						
資料配布						
回	授業計画及び学習の内容					
1	死体現象の見方					
2						
3	自為か他為か、死因の決定					
4						
5	生活に密着した外因死と内因死					
6						
7	個人識別、 試験					
8						
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(内容記載)
	100%	90%	%	%	10%	%
【教員紹介】						
東京医科大学において、解剖学第一講で 12 年間、病理学講座で 6 年間勤務し、臨床検査技師として病理解剖補助の実務に従事していた。						
現職：日本保健医療大学 保健医療学部 看護学科 准教授						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	3 年・前期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門	予防医学総論	塚田 敏彦	あり	1 単位・15 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
<p>予防医学にはどのようなものがあるかを知り、予防医学の重要性を理解する。 ヒトを取り巻く自然や社会環境因子と健康との関連性を探求できる基盤を養う。</p>																
【講義概要】																
<p>近年注目度が高まっている予防医学の様々な分野について、最新のエビデンスをふまえ、科学のおよび医療経済の視点から講義する。</p>																
【教科書・参考文献】																
教科書なし。教員作成資料を配布する。																
回	授業計画及び学習内容															
1	環境因子と健康との関連・経済効果			9/7 (木)												
2	疾病の予防・早期発見			AM												
3	0 次予防			9/14 (木)												
4	1 次・2 次・3 次予防			PM												
5	代替医療			9/21 (木)												
6	予防医学とサプリメント			AM												
7	アンチエイジング学会・未病学会におけるトピックス			9/28 (木)												
8	まとめ・期末試験（公衆衛生も含む国家試験に準ずる問題）			AM												
【成績評価方法】																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価項目</th> <th style="width: 15%;">試験・課題</th> <th style="width: 10%;">小テスト</th> <th style="width: 10%;">レポート</th> <th style="width: 10%;">平常点</th> <th style="width: 45%;">その他（ ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">100%</td> <td style="text-align: center;">80%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">20%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	100%	80%	%	%	20%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）											
100%	80%	%	%	20%	%											
【教員紹介】																
<p>KKR 虎の門病院臨床検査部室長、その後 KKR 稲田登戸病院臨床検査科技師長(出向)として 30 年の実務経験あり。 冲中成人病研究所研究員、順天堂大学臨床病学教室協力研究員： 臨床検査技師・医学博士</p>																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	3 年・前期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
基礎専門	臨床治験総論	新井 智子	あり	1 単位・15 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
臨床試験の必要性を理解し、臨床検査技師として、信頼性のあるデータを提供することの重要性について認識し、臨床試験において適切な役割を担うことができることを目指す。						
【講義概要】						
治験を代表とする臨床試験について、意義を理解したうえで、法規制・実施方法・実施手順・注意事項等の基礎的事項について学ぶ。						
【教科書・参考文献】						
【教科書】「休み時間の薬理学」丸山 敬 著（講談社）						
回	授業計画及び学習内容					
1	臨床試験におけるエビデンスの高い試験方法					
2	臨床試験と治験・医師主導治験					
3	治験の相分類、試験デザイン					
4	臨床試験に関わる法規制・倫理規定					
5	治験の実施手順					
6	治験コーディネーターの役割					
7	治験における日本の課題					
8	まとめ					
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(参加度)
	100%	約 85%	%	%	%	約 15%
【教員紹介】						
病院の治験センターに7年間所属して、治験事務局員および治験コーディネーターとして臨床試験に関わる業務に従事した経験を有する。(薬学博士)						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	3 年・後期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門	内視鏡総論	青木 大己	あり	1 単位・15 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
<p>法改正に伴い、検体採取として「内視鏡用鉗子を用いて消化管病変組織の一部を採取する行為」が新たに追加され、これらのニーズに適切に対応できるよう、内視鏡の意義、検査目的や内視鏡の管理を学び、内視鏡における臨床検査技師の役割を理解することを目標とする。</p>																
【講義概要】																
<p>内視鏡の構造や仕組みを理解し、管理方法や検査の準備の仕方を学びます。治療の仕方を動画で観察します。最後には実際に内視鏡に触れて理解を深めます。</p>																
【教科書・参考文献】																
なし																
回	授業計画及び学習内容															
1	内視鏡の構造、検査意義															
2	内視鏡で出来ること															
3	上部内視鏡について 1															
4	上部内視鏡について 2															
5	下部内視鏡について 1															
6	下部内視鏡について 2															
7	内視鏡の治療															
8	内視鏡実習、生検検査の仕方															
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
【成績評価方法】																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">評価項目</th> <th style="width: 15%;">試験・課題</th> <th style="width: 10%;">小テスト</th> <th style="width: 15%;">レポート</th> <th style="width: 10%;">平常点</th> <th style="width: 40%;">その他（内容記載）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>50%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（内容記載）	%	0%	0%	50%	50%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（内容記載）											
%	0%	0%	50%	50%	%											
【教員紹介】																
<p>担当教員は内視鏡専任の臨床検査技師で実務経験が 7 年ある。消化器内視鏡技師やカプセル内視鏡読影支援技師の資格を有する。</p>																

東京電子専門学校 臨床検査学科

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	3 年・後期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	臨床検査総合演習	臨床検査教員	あり	4 単位・180 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
国家試験出題基準に沿って、模擬試験を実施し国家試験に合格できる実力を養成することを目標とする。						
【講義概要】						
国家試験形式の模擬試験を行い、学生同士によるグループ学習で知識を定着させる。教員による解説や口頭試問で専門知識を深く学ぶ。						
【教科書・参考文献】						
・最新臨床検査学講座（医歯薬出版）・国家試験問題集解答と解説（医学書院）						
授業計画及び学習の内容						
1	臨床検査総論（塚田）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
2	検査管理総論（塚田）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
3	医動物学（塚田）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
4	遺伝子・染色体検査学（塚田）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
5	臨床生理学（荒井）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
6	臨床生理学（阿部）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
7	生化学・臨床化学（北山）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
8	生化学・臨床化学（大田和）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
9	医療安全管理学（北山）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
10	病理組織細胞学（山木）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
11	臨床血液学（堀江）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
12	臨床微生物学（須崎）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
13	臨床免疫学（新井）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
14	公衆衛生学（北山）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
15	医用工学概論（荒井）	・ガイダンス・模擬試験・グループ学習・解説、口頭試問・国試対策				
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（提出物）
	100%	90 %	%	%	10%	%
【教員紹介】						
病院検査部での実務経験を有する教員：塚田敏彦・新井智子（虎の門病院）、荒井健一（亀田総合病院）、阿部俊介（浴風会病院）、北山茂（東京女子医科大学）、大田和伸裕（自衛隊中央病院）、山木久美（山形県鶴岡市立病院）、須崎由美（多摩川総合病院）						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	3 年・前期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門	医療安全管理学	北山 茂	あり	2 単位・30 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
医療の質の向上と安全の確保は患者とその家族にとって最重要事項であり、医療機関が取り組むべき最優先課題である。医療安全を自らのこととして考え、医療安全の意識を高めることを目標とする。																
【講義概要】																
医療の安全文化の醸成を図るため、患者との関わり方やチーム医療の一員としての役割を学ぶ。臨床検査技師は検査室のみならず、外来や病棟での検査業務が増していることからリスクマネジメントや感染対策についても習得する。																
【教科書・参考文献】																
<ul style="list-style-type: none"> 最新臨床検査学講座 医療安全管理学（医歯薬出版） 臨床検査技師のための医療安全管理教本（じほう） 																
回	授業計画及び学習の内容															
1	患者と技師とのかかわり 1・技師による検査説明・チーム医療への技師のかかわり															
2	患者と技師とのかかわり 2・接遇・コミュニケーションスキル															
3	リスクマネジメント 1 ・臨床検査と医療事故・インシデントレポート・アクシデントレポート															
4	リスクマネジメント 2 ・患者取り違え・検体取り違え・患者・家族への対応															
5	感染対策 1 ・感染対策の意義と考え方・感染対策の基本的概念															
6	感染対策 2 ・手指衛生・個人防護具の使用法															
7	感染対策 3 ・標準予防策・感染経路別予防策															
8	感染対策 4 ・ワクチン等による予防・アウトブレイク															
9	感染対策 5 ・感染対策業務の組織化と実践・院内感染対策マニュアル															
10	検体採取 1 ・総論・検体採取の意義・注意事項・注意点															
11	検体採取 2 ・採血・検体採取の技術（標準採血法）															
12	検体採取 3 ・検体採取の意義・鼻腔・咽頭等からの検体採取															
13	検体採取 4 ・皮膚からの検体採取・肛門からの検体採取															
14	検体採取 5 ・鼻腔・咽頭等からの検体採取の実践・涙・唾液からの検体採取															
15	試験及び解説															
【成績評価方法】																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（提出物）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>90 %</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>10%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（提出物）	100%	90 %	%	%	10%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（提出物）											
100%	90 %	%	%	10%	%											
【教員紹介】																
東京女子医科大学病院で臨床検査技師として6年間勤務経験有り。																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	3 年・前期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	臨地実習前教育	臨床検査教員	あり	2 単位・30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
病院実習前の総合教育として臨床検査の知識・手技の能力を定着させる。学内で実施した臨床検査の各種実習を通して身につけた身だしなみや患者接遇を含む検査手技を病院実習前に再チェックする。						
【講義概要】						
臨床検査総論、生理機能検査、生化学検査、病理検査、血液検査、微生物検査、免疫検査の基礎知識の再確認、検査方法の専門知識を深く学ぶ。						
【教科書・参考文献】						
・最新臨床検査学講座（医歯薬出版）・臨床検査臨地実習マニュアル（医歯薬出版）						
回	授業計画及び学習の内容					
1	臨床検査総論（塚田）	・尿定性検査・尿沈渣検査・精度管理				
2	臨床検査総論（堀江・大田和）	・採血法（採血行為を除く）				
3	生理機能検査（荒井）	・超音波・肺機能検査				
4	生理機能検査（阿部）	・標準 12 誘導心電図検査・心電図波形の検査				
5	生理機能検査（阿部）	・正常心電図の判読・異常心電図の判読				
6	生化学検査（北山）	・天秤、微量ピペット、分光光度計の取扱い				
7	生化学検査（大田和）	・検体の取り扱い・自動分析装置				
8	病理検査（山木）	・HE 染色・特殊染色検査				
9	病理検査（山木）	・病理標本観察				
10	血液検査（堀江）	・血球塗抹標本作成と鏡検				
11	血液検査（堀江）	・自動血球分析装置				
12	微生物検査（須崎）	・培養・Gram 染色検査				
13	微生物検査（須崎）	・同定・薬剤感受性試験				
14	免疫検査（新井）	・血液型判定（ABO・RhD）				
15	免疫検査（新井）	・交差適合試験・不規則抗体検査				
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（提出物）
	100%	80%	%	10%	10%	%
【教員紹介】						
病院検査部での実務経験を有する教員：塚田敏彦・新井智子（虎の門病院）、荒井健一（亀田総合病院）、阿部俊介（浴風会病院）、北山茂（東京女子医科大学）、大田和伸裕（自衛隊中央病院）、山木久美（山形県鶴岡市立病院）、須崎由美（多摩川総合病院）						

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象													
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	3 年・前期													
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数												
専門	病院実習	堀江・北山 病院検査技師	あり	8 単位・360 時間												
【授業の到達目標及びテーマ】																
<p>臨地実習では学内実習で教授できない検体採取、検体の処理、検体の保存等を実践し習得することを目標とする。また、医療人として基本的なマナーや患者接遇を身に付ける。</p>																
【講義概要】																
<p>学内で修得した知識や検査技術を用いて病院検査科・部で実習を実施する。臨地の場で患者や病院職員とのコミュニケーションを取り、検査技術の習得や検査に取り組む姿勢（責任・倫理）・態度を学ぶ。</p>																
【教科書・参考文献】																
・臨地実習ノート（医歯薬出版）・臨床検査臨地実習マニュアル（医歯薬出版）																
授業計画及び学習の内容																
1	臨床検査総論 ・尿、便の検査・穿刺液検査・寄生虫検査・採血法															
2	生理機能検査 ・心機能・肺機能・神経機能・その他の生理機能検査															
3	生化学検査 ・検体の取り扱い・自動分析装置・血中薬物濃度・精度管理法															
4	病理検査 ・病理標本作製・鏡検・細胞診・病理解剖															
5	血液検査 ・自動血球分析装置・血液凝固自動分析装置・血球形態検査（血液像）・凝固・線溶系検査															
6	微生物検査 ・検査材料と主要な起炎菌・培地の選択と培養方法・薬剤感受性試験・感染症の遺伝子検査															
7	免疫検査 ・免疫学的測定法・感染症関連検査・輸血検査															
その他	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校で学んだ知識の確認、検査技術の習得 ② 検査業務の流れと検査の必要性や重要性 ③ 検体の採取から保存までの管理と検体の重要性 ④ 検体結果に基づく総合判断、検査データの管理と精度管理などの検査管理技術の理解 ⑤ 医療廃棄物の処理や感染事故対策、医療安全対策 ⑥ 患者心理の理解とマナー、接遇 ⑦ 医療体系や病院運営体系の理解 ⑧ チーム医療の一員として臨床検査技師の役割と責任 															
【成績評価方法】																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他(実習病院の評価)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100%</td> <td>10%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>10%</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table>					評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(実習病院の評価)	100%	10%	%	%	10%	80%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(実習病院の評価)											
100%	10%	%	%	10%	80%											
【教員紹介】																
・各実習病院において、検査部で実務に携わっている臨床検査技師が指導を行う。																

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象														
専門課程	臨床検査学科	2023 年度	3 年・前期														
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数													
独自科目	生殖医療技術学	藤田 健太郎	あり	1 単位・15 時間													
【授業の到達目標及びテーマ】																	
不妊治療の基礎知識を学び、実際に卵子操作や顕微授精装置 (ICSI) の機器操作に触れることによって、エンブリオロジスト (胚培養士) の必要性和仕事内容を理解することを目標とする。																	
【講義概要】																	
不妊治療の現状と生殖補助医療 (体外受精, 顕微授精, 凍結胚を用いた治療) の方法と変遷について学ぶ。顕微授精装置 (ICSI) の基礎知識を学び、実際にマニピュレーターにて精子の吸引・排出操作、マウス卵子を用いて卵子への穿刺操作を行う。																	
【教科書・参考文献】																	
教科書なし。 教員作成資料を配布する。																	
回	授業計画及び学習内容																
1	生殖補助医療概論①																
2	生殖補助医療概論②																
3	生殖補助医療概論③																
4	エンブリオロジスト (胚培養士) の業務について																
5	エンブリオロジストの基礎基本操作①																
6	エンブリオロジストの基礎基本操作②																
7	顕微授精装置 (ICSI) マニピュレーターの精子の不動化処理																
8	顕微授精操作 (卵子細胞質内へ精子を注入)																
9																	
10																	
11																	
【成績評価方法】																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価項目</th> <th style="width: 15%;">試験・課題</th> <th style="width: 15%;">小テスト</th> <th style="width: 15%;">レポート</th> <th style="width: 15%;">平常点</th> <th style="width: 20%;">その他 (内容記載)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>50%</td> <td>50%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>						評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 (内容記載)	%	%	%	50%	50%	%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 (内容記載)												
%	%	%	50%	50%	%												
【教員紹介】																	
藤田健太郎																	
山王病院で胚培養士として臨床業務に携わりながら、国際医療福祉大学大学院にて助教として胚培養士の教育を行っている。																	

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象			
専門課程	臨床検査学科	2022年度	3年・後期			
講義区分	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	国家試験対策講座	臨床検査教員	あり	6単位・90時間		
【授業の到達目標及びテーマ】						
国家試験出題基準に沿って、1年次、2年次に学んできた基礎知識を定着し、専門知識を深め国家試験に合格できる実力を養成することを目標とする。						
【講義概要】						
臨床検査総論、臨床検査医学総論、臨床生理学、臨床化学、病理組織細胞学、臨床血液検査学、臨床微生物学、臨床免疫学、公衆衛生学、医用工学の科目について基礎知識の再確認、検査方法・疾病等の専門知識を深く学ぶ。						
【教科書・参考文献】						
・最新臨床検査学講座（医歯薬出版）・国家試験問題集解答と解説（医学書院）						
授業計画及び学習の内容						
1	臨床検査総論（塚田）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
2	検査管理総論（塚田）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
3	医動物学（塚田）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
4	遺伝子・染色体検査学（塚田）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
5	臨床生理学（荒井）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
6	臨床生理学（阿部）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
7	生化学・臨床化学（北山）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
8	生化学・臨床化学（大田和）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
9	医療安全管理学（北山）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
10	病理組織細胞学（山木）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
11	臨床血液学（堀江）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
12	臨床微生物学（須崎）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
13	臨床免疫学（新井）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
14	公衆衛生学（北山）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
15	医用工学概論（荒井）	・基礎知識の整理・検査方法の解説・疾病との関連の解説・国試対策				
【成績評価方法】						
	評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（提出物）
	100%	90%	%	%	10%	%
【教員紹介】						
病院検査部での実務経験を有する教員：塚田敏彦・新井智子（虎の門病院）、荒井健一（亀田総合病院）、阿部俊介（浴風会病院）、北山茂（東京女子医科大学）、大田和伸裕（自衛隊中央病院）、山木久美（山形県鶴岡市立病院）、須崎由美（多摩川総合病院）						